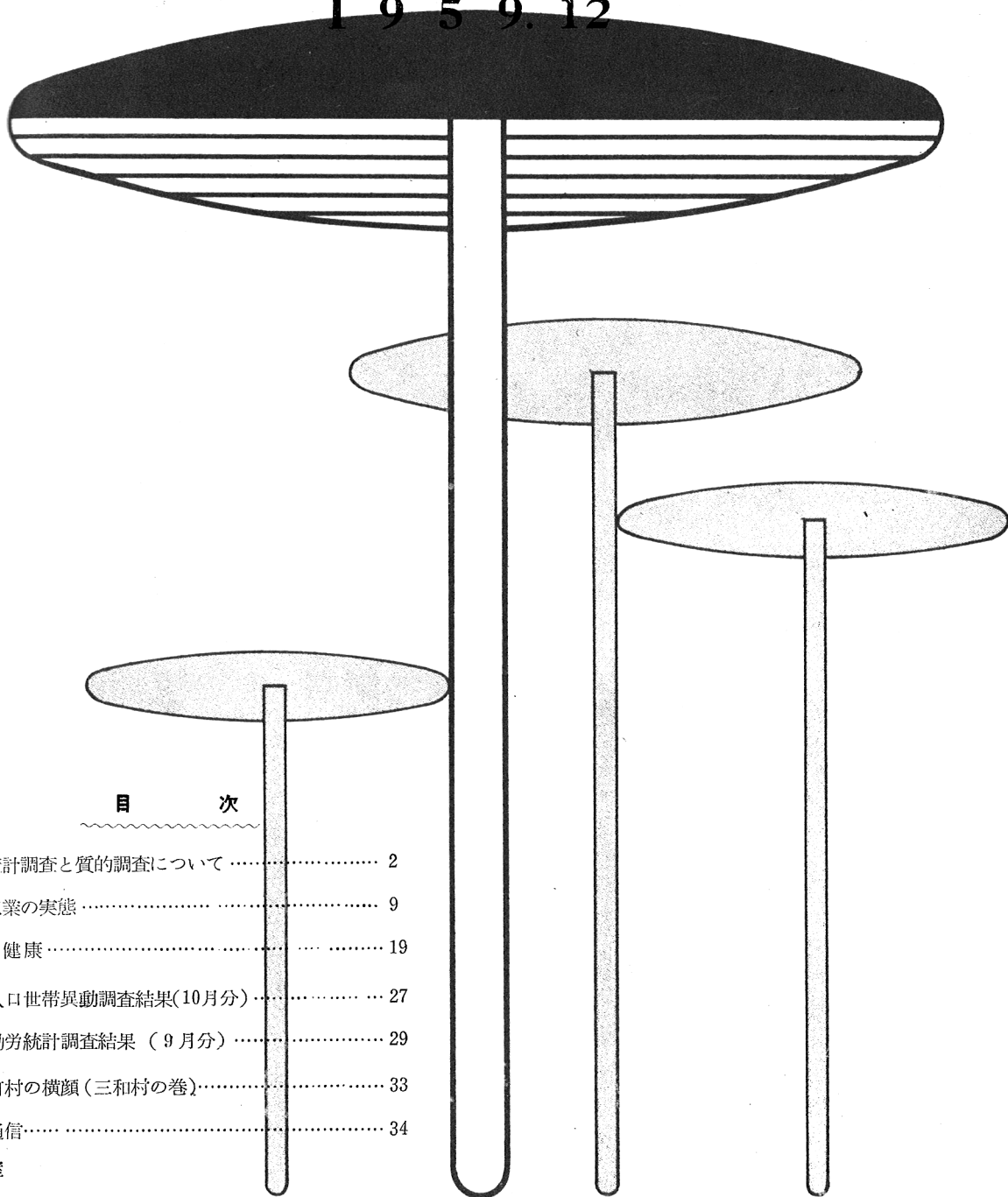


統計茨城

1959.12



目次

| | |
|------------------|----|
| 統計調査と質的調査について | 2 |
| 工業の実態 | 9 |
| 食と健康 | 19 |
| 人口世帯異動調査結果(10月分) | 27 |
| 労働統計調査結果(9月分) | 29 |
| 市町村の横顔(三和村の巻) | 33 |
| 家通信 | 34 |
| 暖室 | |



水戸の広告祭



商 店

11月22、23の両日、水戸市では恒例の広告祭が行われた。水戸の商店街が中心となつて、いわば商人達の年一度のお祭りといつた気分が強いが、今年も色々に数奇を凝らした仮装行列に沿道を埋めたえんえんの見物客を喜ませた。

昭和31年の商業統計調査によると、全国の商店数は1,381,129で、常時従業者は4,299,078人である。同じく本県の商店数は29,971で、都道府県別に見ると第14番目に多く、常時従業者は73,308人で同じく全国第18番目に多い。

昭和33年10月1日の都道府県別推計人口によると、本県は全国第13位にあるから商店数は大体人口に比例し、人の集まるところ必ず商店が出来るといふこれは人のなりわいの変らざる姿であろう。

商店も最近では経営が難しくなつた。デパート攻勢、安売り、同業者の増加、資金繰り等々問題は山積している。広告宣伝は日々に激しくなる。あんなに宣伝していくら売れるんだらうと思う方々の為に、上記調査による、上記商店の6月中の月間販売額をお知らせすると、全国では1,236,632,712千円、本県では7,467,840千円となつている。

士農工商という時代はすでに過去のこと、クリスマスから歳末にかけて、商店はそして商人は我が世の春をおう歌することにならう。



量的統計調査と質的調査について

茨城大学教授 桐田尚作
明治大学教授

1. 統計調査の反省

だいたい市場調査からみた統計の問題、それからもう少し進んで統計による調査の問題点をお話し申し上げたいと思います。

先づ話の順序といたしまして、私共からみまして統計の調査で若干疑問の点がござります。それを最初に申し上げて、その次に統計調査をして行く場合に別な面からもう一つみなければならない点があるのではないかと、それが近頃市場調査でやかましくいわれております動機調査というものであります。その動機調査について、同じ実態の把握でも見方によつてはこういうようなとらえかたもあるのだという事を申し上げて、御批判戴きたいと思ひます。

最初私が統計的な調査で問題にしておりました事は、最近の統計調査は御承知のように実験設計にかけて一応の仮説をたててその仮説につらなる変数の把握というような形で数量の処理をしておるようでございますが、その場合でもその変数の把握のしかたが私どもから見ると問題があるのではないかと申すのであります。これを外の例とならべてみますと我々はよく市場調査の前身として与論調査があることを聞くのであります。与論調査の場合には、一般のopinion (意見) を聞きましてその意見から将来の予測をするわけでござります。ですからopinion から飛躍してprediction (予言) にいくわけでござります。市場調査の方ではいつでもopinion をとらえてからfacts (事実) をたしかめる。その事実から予想にいく、この点が与論調査市場調査とは違つてゐるようであります。統計調査ではやはりこういった関係が問題になると思ふのであります。といひますのは、統計調査

で行われる方法は一応報告を求めるとは、勿論その報告を求めるときにはサンプリングを正確にしてやるわけでありませう。しかしその報告を求めるといふに、かなり問題があるんじゃないかと思ひます。といふのは、市場調査で普通の調査で考える場合に、人にたづねて回答を求めるとか或いは人から報告を求めるといふような形の調査と調査する人が事実を観察するとか、或いは調査する人自身が事実を実験してそれをデータとして集計するいき方とあると思ひます。

いいかえますと人を通じて事実を把握する方法と、事実そのものを把握するいき方がござります。私どものみでます範囲では統計調査はかなり人を通じて事実を把握する面があると思ひます。これでは与論調査でやつてゐるようなあやまちをおかす恐れがあるのではないかと思ひます。それが一つの統計調査に対する私の疑問であります。

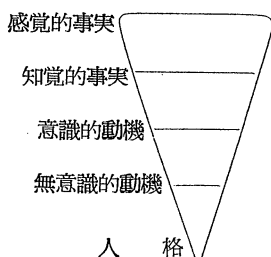
たとえば商業統計調査が最近でござりますが、それを見ましてこの統計のたて方でどういふ点に欠陥があるかといひますと、我々がみても感じますことは売上高が意外に少ないということですね。統計では普通一店舗当り一年に200万円程度の売上があれば4人位の従業員でくらしていることになつてゐる。我々がこの目で実際に診断してみると、少なくとも倍位の売上がなくてはやつていけない。実際200万円程度の売上はそうないですね。それはなぜかといひますと申告する人が自分の考へで適当に処理するわけで、事実を語つてゐない。そういう点に非常な欠陥があります。

第二の問題はその統計をやる場合に、実験設計にか

してそのデータをつなぎ合せて一つの結論をだしてくるという場合です。これは調査者自身のバイアス(ゆがみ)でございまして、調査する人がある一つの方向をきめますと、その方向に都合のよいようなデータ(資料)を持つてくるのでどうも困るというのが、統計学者や統計専門家からよくきくことであります。そういう調査者の主観からくるバイアスですね、そういう面がございまして。でおそらく調査する場合に我々のねらうところはあらゆる面から事実をたしかめるということであります。又事実から一種の予言をだすということ、自分のもっている一つの方向と事実を組み合わせるとそれぞれの担当する業務について decision making (意志決定)をするというのがねらいであります。これに統計は充分に答えているかという私どもからみて答えていない点がいくつかあると思うのであります。

2. 質的調査の方向

そこでこの問題の展開は統計学者にゆづりまして、ここで申し上げたいことは、市場調査でたまたまこの4、5年来重きをおかれるようになりました一つの方法で今いつたような統計的な面ではなくて、事実そのものの見方を示唆する方法です。これを動機調査といつてます。いかえると我々のみている事実と申しましても、目にうつっていることう感覚的な一つの現象がございましてねそれからその奥にはそれぞれの人がある程度理解した知覚的な領野がございまして。それがその奥にまゐりますとそれぞれの人のもっている意識的な動機があります。その奥には又無意識的な動機がございまして。意識的な動機と無意識的な動機の間には半意識的な動機がございまして。



そうゆうふうにご我々が普通とらえている人間の心の奥

底とつらなるような事実と、我々が誰でもがみられるような現象とがございまして。だれでもがみられるような現象でもです、これをはつきりつかむということが困難でございましてけれども、それを更に奥に入つて人間の本性をつつこんでしらべようという動きがでてまゐりまして家際それをやつてきていろいろな効果ができたものですから、近頃だんだんさかんになつてきたので、その概要を申し上げたいと思ひます。

3. 動機調査の方法と利用

動機調査は今申し上げたように、人間の行動の一番奥底には人間のパーソナリティといひますが、人間そのものの持味、人格がございまして。その上の方には無意識の動機が動いてゐる。更にその上には半意識的な動機が動いてゐる、その上の層が意識的な動機がございまして。その上には知覚的な環境、更にその上には感覚的な環境があります。

我々はたとえば opinion (意見) について調査する場合にはかなり意識的な動機に近い線に入つていて、しかも知覚的な層までとらえてゐるが、それでは本当に人の行動の本質というものをつかめないといふので与論調査においても動機調査というものをうけてきたのであります。しかしこれをはじめとてりあげてきたのが診断心理学でございまして、診断心理学のテクニック(技法)を市場調査でとりあげまして市場関係でいろいろな動きがありますが、人の意識の根底に横たわるものをつかんでその奥底にふれるような方法で販売を進めるとか、一般大衆に働きかけるとかというような一つの傾向が著しいのであります。

I 深層面接

そこで動機調査のいくつかの方法をここで申し上げて御参考にしたいと思ひます。今いつたような動機調査をいたします場合に、一番良くつかわれており一番やりやすく一番うまくゆくのは、深層面接 depth interview だといわれております。

これは先程も申し上げた診断心理学の方法であります

が診断心理学で取扱う場合には患者に6カ月から8カ月にわたり毎週一回1時間から2時間の面接をします。患者の心理状態がなにか抑圧されたものをもっている。その抑圧されたものを、それとなく話している内に表に現われてくるものでつかんでくる。その面接の状況をこまかにノートにとりまして、それを分析して患者はどういう面の精神活動が抑圧されているかというのをみまして、その抑圧された面について対症療法でなおしていくという一つの診断法です。これを調査にとり入れてやるときには診断心理学の専門家と現代史の研究者それにできれば社会学の専攻家とマーケティングの専門家とが集つて調査実験の案をきめる訳です。そして50~200位のサンプル数について interview をする場合の質問する要点(key points)を相談してきめ、その要点について反応してきた場合、その反応に対する判定のメモを作っておくわけです。そして実際に調査する人は心理学の専門家でこの一連の動機調査で大切なことは setting (環境設定)と申しまして聞く人と聞かれる人の気持が非常に影響が大きいので、どちらかというとのびのびとして勝手なことがいえる気分にしてやつていくのが良いといわれております。対話の進め方もたわいのない話から問題の key points にしぼつてゆく。そしてでてきた記録を後で分析して、でてくる結論は計数的な結論でなくてこの問題について面接したところでは、こういう結論になつたという一つの命題のような形ででてくるわけです。私どもが読んだり見たりして非常に面白いことは、人間の感覚の層は非常に変化するんですね、しかし知覚の層、意識の層になるとかなり変化が少ない。最後の無意識の層になると殆んど万人共通というものを持つてくるのですね、勿論 personality (人格)というのはどこか一つの共通の線につらなるというようなものがあるので、僅かな20~50位のサンプリングでも実際のサンプルで得たものがなにより人間の本性に通ずるものが見つかるといわれております。

深層面接による調査判定の例

参考までにアメリカの調査結果を申し上げますと Diether という人が1944年にその頃でてきたテレビについて映画はテレビにおされるのではないかとテレビをもっている人は映画をみる動機があるかどうか、という命題に対し調査の結果は映画をみる動機 role-playing といつてでてくる人の気持になつて楽しむことである。

ところがテレビの画面が小さいテレビはまわりの家事にわずらわされる事が多いので映画によつて得られる楽しみはテレビによつて得ることはできないというのが主な理由になつております。

その外ガソリンの購売動機の調査では、ガソリンの購売動機は品質には関係ない。一番問題なのはサービスステーションのサービスだといわれております。最近石油の販売競争が激しい日本でも石油の動機調査が新たに行われているようですが、この動機調査も私は割合に正しいくらいでないかと見られます。これが depth interview であります。

II 話題中心の集団面接

その次にでてくるのが focus group interview です。focus というのは焦点を合せるということですが、焦点となるものを与えて、集つた人に自由に発言してもらいその発言について分析するというのがこの方法です。普通集まる人が6人から10人位であります。その進行を専門の心理学者にやつてもらう、この会議も何回かやつてその発言を分析して結論を出してくる。これを depth interview でいたしますと、専門家が何回も長い期間にわたつて調査しますから経費がかかりますが、この方法ですと、費用があまりかからないから、depth interview にかわる方法として用いられる。動機調査に属していない普通の group interview ですと、記録をそのまま会社の人が聞いて、それぞれの立場からヒントを得るわけですが、focus group interview のときは専門家がその結果を調べましてこの問題については一般の人はこういう態度をとつているという結論をだすのです。この点が一般の group interview と違うのであります。depth interv

iew にしても group interview にしても一般の学者の意見ではかなり自由な気持で話してもらつても実際には意識的な動機層位でとまつてしまつて、depth までゆかないといわれております。しかし専門家でかなり熟練した人ですと、相当はつきりした質的な結論がでてきまして効果をあげることができまので、日本ではよく用いられてきております。

投 資 法

これに対しましては調査されている人、被実験人といいますが、本人が自分の動機なり気持を直接表わしているんだという気持をおこさせないで、調査する方法があります。これを投影法といいます。これになりますと自分の本当の姿の影を落すわけです。その影をみてこの人はどういう動機をもっているか判定するのです。やり方が間接的であります。調査をうけている人は自分の秘密の世界を表わしているという気持をもたないで、しかも実際は depth interview よりも深いところを反応させている。そういうやり方のいくつかの方法が実際に日本で行われたことがあります。その方法の主なものをあげますと、

III 自由語句連想法

投影法の中では一番昔から行われているものであります。やり方は簡単です。実験者は先づ自分が相手にある言葉をいつた場合に相手がどういつた反応を示すか予想しながらいくつかの言葉を用意しておく。そして実験者と被実験者とは1対1でその言葉を読み上げていき相手の表情の変化、答のつまつたことなどからその人のいつも考えていることをとらえる。すなわち答をしない場合とか、3分以上答のない場合、同じ答のくりかえされる回数によつて判定する。この方法は昔から犯罪の取調べによく用いた。市場調査とか販売関係でこれが非常に役立つのは広告の文句を作る場合、その読みあげる言葉の中いろいろな言葉をおり込んで役立て、その言葉の反応がよいか、わるいかによつて広告文をつくる参考にするのです。

IV 文章完成法

言葉のはじめの部分だけを被実験者にみせまして文章を完成させる。相手が非常によこんでやれるような文もありますし、相手に不快な感じを与える文も含めておくのです。このように相手にいろいろな影響を与える性質の違つた文章をだして相手の気持を表わすような文に補充させる。この文章は全体として関連のないものでさしつかえないし、サンプル数はあまり多くいらぬのです。日本では、はつきり使つた例はきいておりませんが主に政党調査とか社会調査で用いられる方法です。この方法の欠点は一般のアンケート調査と同じような形式によりアンケートと同じような感じを与えますので、本当に人間が抑圧された心的状態は反応しないようです。従つて見ようによつては語句連想法より奥底へつこんでゆけない面があります。

V 絵画統覚法

T A T test (Thematic Apperception Test) といわれるものがこれですが、5枚から10枚の完全に描かれた絵とか写真を一枚づつ被実験者に見せて、「この絵を御覧になつて物語をつくつて下さい。今何が起つているかを話して下さい。この絵の状態からどう変つていつて、最後にどう結末がついたかを話して下さい。」とか、「この絵のなかの人はどんなことを考えているか、どんな気持ですか話していただきたい。どんなお話にまとめてもいいのです。」とたずねるのです。そこで被実験者は、その絵を見てふと思いついたことを話していることからのうちに、自己の動機を投影するのであります。このテクニックは Henry A Murray によつて1943年にはじめて市場調査に用いられました。それぞれの絵の反応をあらかじめ研究してから実験をするのですが、その標本数は90から400とればよいとされています。わが国でも輿論科学協会の牧田さんがこれを行いました。この実験によつて被実験者の人格の構成要素があらわれてくるし、その人の過去の経験と現在の欲望が表われてきます。そして平常のときには抑圧されている動機があらわれてくる

のです。

VI 漫画法 (Cartoon and Picture devices of Picture Frustration)

これはT A Tテストと同じ原理でおこなわれるテストであります。これをピクチャー・フラストレーション (欲求不満投影法) ともいいます。これはS. Rosenzweig によつて1945年に発表された方法で、彼は24枚の絵—その絵も略画のものとか、漫画風のもの—を用いた。その絵には2人の人が対話する様子を表わして、そのうちの1人が何かを話していると、他の1人はそれに答えて話しているのをバルーンで、丁度漫画中の人物が話しているような風にするのです。そして1人が何かを話すと、他の人のバルーンを空白にしておいて、それに1被実験者が答を書くのです。このテストをはじめるときは、T A Tテストと同じ位の標本数で絵の数は10枚前後でもよいのです。実験者は被実験者に絵を示しながら「ここに1枚の絵がありますが、もう1人の方が話しかけに答えようとしています。何んと答えたらよいと思えますか。」とたずねてその答を記録するか、または被実験者に書き入れてもらうわけです。

この答えのなかに抑えられている動機があらわれるわけです。多くの場合被実験者の欲求不満があらわされます。この方法は人格心理学に用いられはじめ、今では政治にも、世論調査にも市場調査にも用いられてきました。

T A TテストおよびP Fテスト一例

この食料品店は最近店舗を改装いたしましたけれども売り上げが依然として低下する。いつたいどうしてお客さんがこないだろう。そこでその理由を確かめようというわけで、絵画統覚法でやってみたんです。まず第1枚目の絵は、左の主婦がコーヒーかなんかを飲んでるところが出ています。そうして1人の主婦が「値段の安いところで買い物をしたほうがいいと思つていすね。私には安い値段が肝心ですからね」と、こう言つてる。そうすると相手のもう1人の主婦が「あなたも私も」

といつて、そのあと点々になつていっているわけです。これはおそらくそこで値段が安いところで買ったほうがいいですね、と出てくるか、あるいはそうでないかということを見るわけです。価格の安いということがアツビールの原因になるかということ、これは食堂でコーヒーかなんかを飲みながら2人の主婦が話し合つている状態にして出しているわけです。

第2は、こんどは果物と野菜の陳列しているところに立つて、果物と野菜についての話し合いをしている絵です。これは果物と野菜ではどういつた種類のを求めているか、新鮮なものを求めているか、あるいは大衆向きのものか、高級なものか、そういうようなところが出るようにして、その店の経営方針と結びつけているのがございます。

第3には、店舗の美しい絵を出しまして、遠くから店舗を見ておつて、店舗の改装がどういふ効果をもたらしているかということをごみております。

第4枚目の絵は、こんどはその食品の肉の売場を出しまして、肉についてはどういふ要求をもつているかということを見るわけです。

それから第5枚目には、二つの同じ店を少し離して並べておきまして、その2軒を見ながら話している形にして、買い物をする場合に、1軒で買わないで2軒で買ったほうがいいか、それとも1軒で買ったほうがいいかというようなことが自然に出てくるような形にしておくわけです。

このような5枚のピクチャー、フラストレーションのカードを出して、もう1枚最後に食料品店の精密な絵を描きまして、絵画統覚法によりまして、その絵を見て話してもらふということにしてみました。これで一通りやりまして調べた結果思いがけない結果が出た。その店では、はじめ値段が高いんだろうと思つていた。ほかの店より値段が高いから売れないんじゃないかと思つていた。そういうことを前提におきながら調べてみた。そうしたら、結果はそうではなくて、食料品店というのは値

段よりも品質が第一だ、しかも新しいものを売ることが大事であるということが出て来た。その店のなかでいちばんの欠陥はなにかというと、肉の売場ということが出てきた。その店では安い肉をいちばん前に並べてあるので品質の悪いのばかり売つてるといふ印象を与えてるといふのがわかった。店舗を改装をして値段を安くしても売れないということがはつきりしたという例もごさいます。そういつたような方法がひとつのやりかたでござい

Ⅶ ロールシャツハ・テスト

ついででございますから、もう一つ申し上げますが、近頃はやりのロールシャツハ・テスト…これの本がこつちでも出ておりますが、ロールシャツハ・テストという、なんかすごいように聞こえますが、これはロールシャツハ・インクプロット・テストともいわれて、インクのシミを紙に印刷しまして、その紙を見せて、なにかの形に見えるようにしておきます。たとえばこういう形にして、これがよく出てきます。両側のシミがだいたい等しくなるようにするんだそうです。これをこのままお見せして、これがなんに見えますか、というやり方です。これは自分の動機に近いものが出てくるそうです。しかし、私は、いまのところはまだいろいろ疑問がござい

ます。そして、これを市場調査に用いて成功した例はまだないそうです。これはわれわれのマーケットのリサーチだけやるものにはできない。臨床心理学者とかあるいは社会心理学者とか、そういう人と相談しながらやらなければならない、少くとも3人くらい専門家が集まらなければやれないといわれております。たとえば、これを見てすぐ蝶々だと出てくる人もあるだろうし、カニという人もあるでしょう。そういうふうには蝶々、カニとシンプルに答えるのは程度が低いというんです。なかには骨盤という人もある。これはダンスを踊つていくつと廻つてるところ、このへんになるとだんだんと高級だといふふうに言いますが、どうでございましょうか、これはわかりませんが、うつかり動物なんて言えませ

よ、こんな注釈が本には入っておりますが、これは精神病のいろんな診断に用いられたテクニクを用いて、こういうプロットを見せて、それに反応をみせたところの動機を調べる。それとマーケティングの関係で仮説を立てることができるかということは、これは応用になつてまいりますけれども、ただ私の申し上げるのはインクプロット—この方はドイツの人ですが、若い新しい学者が次から次へと出ておりますから、この新しいテクニクが、やがてマーケティング・リサーチの面で出てくるといふ思います。今まで述べたなかでいちばんやりやすいのは、ピクチャー・フラストレーションじゃないかと思つております。仮説さえしつかり立てますれば、サンプルのとりかたも楽でございます。ところが動機調査についていちばん問題になるのは、調査のセツティングだそうですね。調査をする環境のきめかただそうです。あわただしく忙しいところでやると反応がぜんぜんちがつてくるそうです。それから非実験者が心理的な圧迫があつたりすると、また変つてくるそうです。セツティングの問題がいちばん重要だということです。市場調査でも、もちろん臨床心理学の面ではなおのことです。動機調査はまつたく、われわれ、もの珍しいんで、専門外のほうまではみ出したわけでございますが、動機調査を最後にして、市場調査のテクニクがいちおう終つた形になるわけでございます。

4. む す び

こうゆういくつかの方法で市場調査の質的な面の分析を考えてきましたが、どうも我々の直面する客体や人格の中には質的な面で底に通ずる普遍妥当的なものがあるのではないかとおもわれます。その面を忘れて統計より調査というものが、皮相的な現象の面にだけとられて、集計によつて表わされたものだけで判定を下すということとは非常に誤つたものの把握のしかたではないかと思つてます。たまたま市場調査でこうゆう方法がでたから我々は注目するということになしに、なにか千古に通ずる人間の本質的なものがあると思つてますので、その面にやは

り市場調査が動いてきているということは意味がありますし、その面のところに現象からはなれた現象の底に横たわる何ものかがあるのではないかと思います。いいかえると今までの統計調査より普通の調査は波だとか、しぶきだとか、現象をあまりみすぎるとはではないか。やはり、なにかこの動機調査でねらうような人間の奥に横たわる本質的なそして共通な基盤があるのではないかということにふれたいと思つたのです。

いま量的というのをいけば現象にそくした忙しい見方質的というのは現象から奥にある本質的なものをつかむという意味に使つたわけです。本質動向などという言葉

をよく耳にしますがその場合の本質動向というのはそういう意味の本質でなくてつかわれる場合が多いのですが、いいかえると自分の思っている信念とか宗教が本質だという考え方で、議論を進める人が多いのですが、そういう意味でない本質的なものがやはり我々をとりまく現象の奥にあるのではないかと思います。そういう目でもう一度統計資料なり、人の考えた論理をいろいろ見直す必要があるのではないかと考えておるわけです。

(本稿は常陽銀行会議室で開催された茨城県調査統計連絡協議会における講演を筆記したものである。)

簡単な数学

ちよつと季節はずれであるような気もしますが、市町村で運動会などを行う際に少しでも役に立てばと思つたようなことを御一語に考えてみたいと思います。

一応ここでは野球ということにして、まずトーナメントで25チームが優勝を目指して試合を行うとすれば、いつたい何試合行えばよいのでしょうか？

ここで1試合行えば1チームが優勝圏外へ去つて行くことに着眼すれば、最後に1チーム残ればよいのであるから、残りの24チームを圏外へ落すためには、24試合行えばよいことになります。

こんどは、A、B、C、D、E、Fの6チームでリーグ戦を行う場合の試合数について考えてみましょう。これは総あたりであるから

Aに対しては、B、C、D、E、Fの5チームがあたり
 B // C、D、E、Fの4チームが
 C // D、E、Fの3チームが
 D // E、Fの2チームが
 E // Fの1チームが

ということになり、結局 $5+4+3+2+1=15$ 試合を行えばよい、これをくり返しを許さない組合せの公式を用いると簡単に計算することが出来ます。

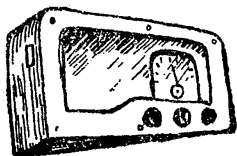
一般にn個の相異なるものから、くり返しを許さないでr個とり出す組合せの数は $nCr = \frac{n!}{r!(n-r)!}$ ($n \geq r$) であるから、(ここでn!とはn階乗といい、n個の相異なるものを順に並べる順列の総数 $n \times (n-1) \times (n-2) \times (n-3) \times \dots \times 3 \times 2 \times 1$ である) 上記の問題について、公式を用いて計算してみると次のようになります。

6チームからくり返しを許さないで(二度と同じ相手にあたらない)2チームの組合せがいくつになるかというのであるから、 $n=6$ $r=2$ として

$$6C2 = \frac{6!}{2!(6-2)!} = \frac{6!}{2! \times 4!} = \frac{6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1}{2 \times 1 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1}$$

15という結果になり、はじめに一々並べて計算したものと一致します。

(生井一郎)



昭和33年工業統計調査結果から

本 県 工 業 の 実 態

昨年12月31日現在で調査を実施した、工業統計調査の結果がまとまりましたので公表いたします。

第 一 章 調 査 の 概 要 に つ い て

(1) 調 査 の 目 的

あらゆる統計調査には、その目的がきめられています。工業統計調査の目的はわが国工業の実態を明らかにすることになっていっています。工業の実態を明らかにするためには、いろいろの方法手段もありますが、根本的には、工業についての国勢調査をおこなうことが先決条件であります。そして、調査内容もまた生産諸要素および生産活動の成果等の各方面にわたっています。

この調査結果がどうい分野に利用されているかといえますと、

第一に通産省当局であります。通産省におきましては、その産業諸施策を推進するために、工業統計を十分に活用しています。たとえば、中小企業の振興対策、企業の合理化対策、生産と流通の調整対策などを樹立するために、基礎的資料として使用しています。

第二に各都道府県ならびに区市町村当局の利用状況であります。さいきん、地域経済圏の確立、整備の必要性が叫ばれていますが、これら地域毎の基礎資料として工業統計の存在はまことに重要なものであります。

第三に民間企業の利用であります。経営の科学化に対応するため、業界事情の把握、マーケット・サーヴエー等の資料として注目されています。

第四に学者、有識者の利用であります。わが国産業構造の分析、日本工業発達史、その他あらゆる経済分析に工業統計が利用されています。

第五に世界センサスの一環としての意義であります。国連の統計委員会においては、世界各国政府に対して、工業センサスに関する各種の勧告をしていますが、わが国もまた、これら勧告の趣旨を尊重して、調査内容を設計しています。したがって、この工業統計調査は国内的のみならず、対外的にも極めて重要性をもつものであります。

(2) 調 査 の 種 類

この調査は、指定統計第10号であつて、工業統計調査規則により実施しますが、調査方法の正確を期するため、準備調査と本調査に分かれています。本調査は次の3種類の調査によつておこないます。

- (1) 甲 調 査 従業者4人以上の事業所(工場)について調査票甲で行います。
- (2) 乙 調 査 従業者3人以下の事業所(工場)について調査票乙で行います。
- (3) 丙 調 査 次の場合の製造業に属する企業の本社または本店について調査票丙で行います。
 - (a) 製造工場2以上をもつているもの
 - (b) 本社または本店が製造工場と別の場にあるもの

(3) 調 査 の 範 囲 お よ び 対 象

この調査は、日本標準産業分類に掲げる大分類F—製造業に属する事業所を対象範囲とします。

I 調 査 の 範 囲

| 大 分 類 | 中 分 類 | 小 分 類、細 分 類 |
|---------|--------------------------|-------------|
| F 製 造 業 | 18 食料品製造業 | 省 略 |
| 〃 | 20 繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く。) | 〃 |
| 〃 | 21 衣服、その他の繊維製品製造業 | 〃 |
| 〃 | 22 木材、木製品製造業(家具を除く。) | 〃 |
| 〃 | 23 家具、装備品製造業 | 〃 |
| 〃 | 24 パルプ、紙、紙加工品製造業 | 〃 |
| 〃 | 25 出版、印刷、同関連産業 | 〃 |
| 〃 | 26 化学工業 | 〃 |
| 〃 | 27 石油製品、石炭製品製造業 | 〃 |

| | | | |
|----|----|------------------------------------|----|
| // | 28 | ゴム製品製造業 | // |
| // | 29 | 皮革、同製品製造業 | // |
| // | 30 | 窯業、土石製品製造業 | // |
| // | 31 | 鉄鋼業 | // |
| // | 32 | 非鉄金属製造業 | // |
| // | 33 | 金属製品製造業 | // |
| // | 34 | 機械製造業（電気機械器具を除く。） | // |
| // | 35 | 電気機械器具製造業 | // |
| // | 36 | 輸送用機械器具製造業 | // |
| // | 37 | 計量器、測定器、測量機械、医療機械、理化学機械、光学機械、時計製造業 | // |
| // | 38 | 武器製造業 | // |
| // | 39 | その他の製造業 | // |

(注)：国および公共企業体に属する事業所は除きます。

この調査では、日本標準産業分類による製造業を主業とする事業所について調査しますが、この製造業という大分類には、有機または無機の物質に物理的、化学的变化を加えて新製品を製造し、これを卸売りする事業所が分類されます。すなわち、この事業所は、一般に製造会社、工場、作業所と呼ばれるものです。いわゆる家内工業においては、作業所と呼ばれるものがない場合もありますが、製造加工を主としておこなっている場合には、この分類に含まれます。また、製造業の本社、本店も製造業に分類されますが、別の場所に経営している自己製品の販売事業所は大分類G一卸売業、小売業に分類されます。

Ⅱ 製造業の定義および他産業との関係

いわゆる製造業とは、次の2条件をみたすものであります。

第1の条件として、

新製品の製造加工に従事する事業所であること。したがって、単に選別するとか、包装する作業に従事する事業所は製造業とはしません。なお、完成された部品を組立てるだけの作業(組立作業)に従事する事業所、たとえば、自転車、ラジオ受信機の組立でも製造業に分類されますが、土地に定着する工作物、たとえば、ビルディングについては組立て作業であつても、製造業とはしません。

この場合の新製品とは、必ずしも完成品を意味しません。半製品(たとえば、鑄放しのままの機械部品)もこれに含まれます。

第2の条件として、

新製品を主として卸売りする事業所であること。

ここで卸売りとは、次の場合をいい、製造小売は除かれます。

(イ) 卸売業者または小売業者に販売することです。

(ロ) 産業用使用者(工場、鉱山、建築業者、各種会社、公社、官公署、学校、病院、旅館、料理店、法人経営の農林水産業者等)に販売することです。したがって、個人経営の農林水産業者に製品を販売する場合は卸売とはしません。

(ハ) 同一企業に属する他の事業所(同じ会社の他の工場、販売所など)に製品を引渡すことです。

Ⅲ 調査の単位

(i) 工業調査の調査単位は、個々の事業所です。

(イ) 甲調査および乙調査では、普通に工場とか、製作所とか、製造所とか、加工所などと呼ばれているような、一区画を占めて製造や加工を行っている事業所です。

(ロ) 丙調査では、製造業に属する事業所二つ以上を経営する企業の本社または本店です。

製造業に属する事業所が二つ以上ある場合は、工場、加工所等が二つ以上ある場合と、企業の本社または本店と工場が別の場所にある場合をいいます。

なお、工場が二つ以上の場合、その本社または本店が、工場と別のところにあつても、または、そのうち一つの工場と同一の場所にあつても、その本社または本店は丙調査の対象になります。また同時に、本社または本店と同一の場所にある工場は、甲調査または乙調査の対象にもなります。さらに、工場が一つでも、本社または本店が工場と別のところにある場合の本社または本店は、丙調査の対象となり、工場は、甲調査または乙調査の対象になります。

(ハ) 経営主体が同一である限り、同一構内に二つ以上の事業所があるとは原則として考えません

(4) 調査の時期

この調査は、昭和33年12月31日現在で、33年1月1日から12月31日までの1年間の事実について調査した。

第二章 調査の結果

昭和 33 年 工 業

(従業者 4 人以上の事業所)

| 産業中分類 | 1 事業所数 | | | | | 2 従業者 | | | | | |
|------------------|-------------|----|-------|-----|-------------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 会社 | 組合 | 個人 | その他 | 計 | 常用 | | 労働者 | | 計 | |
| | | | | | | 職 | 員 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 総計 | ※1 1,226 | 55 | 1,326 | 4 | ※1 2,611 | 11,968 | 3,262 | 38,926 | 13,250 | 50,894 | 16,512 |
| 18食料品製造業 | 398 | 38 | 429 | 2 | 867 | 1,192 | 450 | 5,446 | 2,795 | 6,638 | 3,245 |
| 20繊維工業 | 65 | 2 | 85 | — | 152 | 226 | 116 | 513 | 2,166 | 739 | 2,282 |
| 21衣服及び繊維製品製造業 | 31 | 1 | 76 | — | 108 | 76 | 49 | 230 | 1,056 | 306 | 1,105 |
| 22木材及び木製品製造業 | 222 | 3 | 178 | — | 403 | 463 | 187 | 3,066 | 634 | 3,529 | 821 |
| 23家具及び装備品製造業 | 42 | — | 42 | — | 84 | 80 | 25 | 621 | 52 | 701 | 77 |
| 24パルプ、紙及び紙加工品製造業 | 18 | 2 | 21 | — | 41 | 72 | 37 | 540 | 197 | 612 | 234 |
| 25印刷出版及び関連産業 | 41 | — | 38 | 2 | 81 | 302 | 62 | 702 | 154 | 1,004 | 216 |
| 26化学工業 | 15 | 1 | 9 | — | 25 | 264 | 64 | 429 | 98 | 693 | 162 |
| 27石油及び石炭製品製造業 | 6 | 1 | — | — | 7 | 42 | 19 | 181 | 29 | 223 | 48 |
| 28ゴム製品製造業 | 2 | — | — | — | 2 | | | | | | |
| 29皮革及び皮革製品製造業 | 5 | — | 1 | — | 6 | 25 | 4 | 108 | 44 | 133 | 48 |
| 30窯業及び土石製品製造業 | 81 | 1 | 159 | — | 241 | 445 | 129 | 3,839 | 621 | 4,284 | 750 |
| 31鉄鋼業 | 17 | — | 5 | — | 22 | 640 | 63 | 1,601 | 104 | 2,241 | 167 |
| 32非鉄金属製造業 | ※1 10 | — | 3 | — | ※1 13 | 1,161 | 231 | 2,722 | 374 | 3,883 | 605 |
| 33金属製品製造業 | 39 | — | 64 | — | 103 | 137 | 62 | 1,414 | 266 | 1,551 | 328 |
| 34機械製造業 | 68 | 2 | 53 | — | 123 | 622 | 224 | 2,963 | 476 | 3,585 | 700 |
| 35電気機械器具製造業 | 86 | — | 65 | — | 151 | 5,856 | 1,382 | 12,228 | 2,966 | 18,084 | 4,348 |
| 36輸送用機械器具製造業 | 14 | — | 20 | — | 34 | 76 | 32 | 753 | 46 | 829 | 78 |
| 37精密機械器具製造業 | 17 | 1 | 19 | — | 37 | 94 | 48 | 631 | 287 | 725 | 335 |
| 38武器製造業 | 1 | — | 1 | — | 2 | | | | | | |
| 39その他の製造業 | 48 | 3 | 58 | — | 109 | 195 | 78 | 939 | 885 | 1,134 | 963 |

注 (1) 2以下の事業所に関する数字(事業所を除く)は類似分類および近接の分類に含まれる。△印は赤字を示す
(2) 37精密機械器具製造業とは計量器、測定器、測量機械、医療機械、理化学機械、光学機械、時計製造業を

調 査 結 果 表

(その1)

金額単位千円

| 者 | | 数 | | | 常用労働 者年間延 べ人員 | 3 現 金 給 与 額 | | | 計 | 4 原材料使 用 額 |
|--------------------|-----|--------|--------|-------------|---------------------|-------------|---------|------------|------------|------------------|
| 個人業主及び家 族 従 業 者 | | 計 | | 定期及び特別給与 | | その他の 給 与 | 計 | | | |
| 男 | 女 | 男 | 女 | 職 員 労 務 者 | | | | | | |
| 1,956 | 973 | 52,850 | 17,485 | 797,767 | 4,626,518 | 7,336,338 | 359,991 | 12,322,847 | 75,810,768 | |
| 728 | 555 | 7,366 | 3,800 | 103,264 | 352,400 | 730,281 | 104,477 | 1,187,158 | 12,840,733 | |
| 125 | 89 | 864 | 2,371 | 35,788 | 64,697 | 194,991 | 10,240 | 269,928 | 1,872,294 | |
| 89 | 50 | 395 | 1,155 | 17,250 | 22,174 | 94,338 | 755 | 117,267 | 260,467 | |
| 238 | 52 | 3,767 | 873 | 49,770 | 121,493 | 360,112 | 18,975 | 500,580 | 3,059,943 | |
| 79 | 7 | 780 | 84 | 9,059 | 15,264 | 68,128 | 2,104 | 85,496 | 217,284 | |
| 34 | 22 | 646 | 256 | 9,475 | 19,570 | 85,855 | 675 | 106,100 | 872,170 | |
| 49 | 22 | 1,053 | 238 | 14,381 | 63,009 | 104,733 | 6,992 | 174,734 | 245,607 | |
| 11 | 5 | 704 | 167 | 9,664 | 99,195 | 79,929 | 26,273 | 205,397 | 1,483,096 | |
| — | — | 223 | 48 | 3,212 | 13,109 | 31,275 | 1,136 | 45,520 | 776,286 | |
| 1 | — | 134 | 48 | 2,398 | 12,138 | 17,904 | 689 | 30,731 | 256,689 | |
| 233 | 59 | 4,517 | 809 | 58,061 | 138,874 | 616,273 | 20,887 | 776,034 | 1,244,469 | |
| 10 | 1 | 2,251 | 168 | 30,345 | 278,688 | 388,269 | 8,811 | 675,768 | 3,557,826 | |
| 2 | 2 | 3,885 | 607 | 53,801 | 506,136 | 644,126 | 30,691 | 1,180,953 | 13,315,878 | |
| 82 | 24 | 1,633 | 352 | 23,026 | 33,857 | 197,812 | 2,956 | 234,625 | 473,440 | |
| 57 | 11 | 3,642 | 711 | 52,259 | 222,880 | 476,981 | 10,085 | 709,950 | 1,714,072 | |
| 81 | 25 | 18,165 | 4,373 | 278,191 | 2,547,295 | 2,835,240 | 107,401 | 5,489,936 | 31,971,766 | |
| 26 | 4 | 855 | 82 | 11,983 | 27,330 | 143,648 | 507 | 171,485 | 831,431 | |
| 29 | 8 | 754 | 343 | 12,190 | 33,082 | 106,245 | 3,291 | 142,618 | 290,256 | |
| 82 | 37 | 1,216 | 1,000 | 23,650 | 55,323 | 160,198 | 3,046 | 218,567 | 527,061 | |

いう。

(続)

| 産業中分類 | 項目 | 経 営 支 出 額 | | | | 5 製造品、原材料およ | | | |
|-------|--------------------|------------|------------|------------|------------|-------------|---------------|----------------|------------|
| | | | | | | 本 年 初 | | | |
| | | 燃 料 使用額 | 電 力 使用額 | 委 託 生産費 | 計 | 製 造 品 | 原 材 料、 燃 料 | 半 製 品 仕 掛 品 | 計 |
| 総 計 | | 2,149,085 | 1,288,094 | 4,459,874 | 83,707,821 | 4,572,721 | 10,896,435 | 17,032,835 | 32,501,991 |
| 18 | 食料品製造業 | 284,196 | 162,004 | 3,959 | 13,290,892 | 1,166,926 | 701,475 | 342,842 | 2,211,243 |
| 20 | 繊維工業 | 47,398 | 12,869 | 92,120 | 2,024,681 | 76,969 | 634,880 | 27,248 | 739,097 |
| 21 | 衣服及繊維製品製造業 | 5,227 | 8,316 | 53,108 | 327,118 | 31,128 | 12,918 | 4,573 | 48,619 |
| 22 | 木材及び木製品製造業 | 35,324 | 42,312 | 10,930 | 3,148,509 | 181,395 | 378,954 | 53,008 | 613,357 |
| 23 | 家具及び装備品製造業 | 2,599 | 4,912 | 6,932 | 231,727 | 18,969 | 34,060 | 4,978 | 58,007 |
| 24 | パルプ、紙及び紙加工 品製造業 | 88,062 | 36,955 | 9,300 | 1,006,487 | 43,655 | 390,238 | 10,102 | 443,995 |
| 25 | 印刷出版及び関連産業 | 3,646 | 4,658 | 15,811 | 269,722 | 3,298 | 20,694 | 2,037 | 26,029 |
| 26 | 化学工業 | 35,791 | 33,804 | 32,566 | 1,585,257 | 90,721 | 149,337 | 39,120 | 279,178 |
| 27 | 石油及石炭製品製造業 | 16,212 | 4,680 | 765 | 797,943 | 13,735 | 79,259 | 2,347 | 95,341 |
| 28 | ゴム製品製造業 | | | | | | | | |
| 29 | 皮革及皮革製品製造業 | 5,479 | 1,765 | 3,953 | 260,886 | 9,420 | 9,168 | 33,199 | 51,787 |
| 30 | 窯業及土石製品製造業 | 806,326 | 129,389 | 35,777 | 2,215,961 | 207,643 | 195,653 | 48,904 | 452,200 |
| 31 | 鉄 鋼 業 | 86,067 | 151,064 | 348,682 | 4,143,639 | 157,982 | 1,055,098 | 1,199,707 | 2,412,787 |
| 32 | 非鉄金属製造業 | 221,306 | 229,320 | 539,420 | 14,305,924 | 635,144 | 1,744,843 | 1,824,510 | 4,204,497 |
| 33 | 金属製品製造業 | 23,653 | 17,620 | 29,829 | 544,542 | 11,012 | 29,074 | 10,604 | 50,690 |
| 34 | 機械製造業 | 24,176 | 42,876 | 136,553 | 1,917,677 | 345,494 | 361,261 | 187,077 | 893,832 |
| 35 | 電気機械器具製造業 | 448,380 | 379,021 | 2,977,597 | 35,776,764 | 1,340,671 | 4,868,903 | 13,016,131 | 19,225,705 |
| 36 | 輸送用機械器具製造業 | 5,198 | 7,864 | 70,888 | 915,381 | 143,351 | 113,511 | 108,649 | 365,511 |
| 37 | 精密機械器具製造業 | 3,561 | 6,162 | 11,662 | 311,641 | 55,965 | 68,901 | 101,154 | 226,020 |
| 38 | 武器製造業 | | | | | | | | |
| 39 | その他の製造業 | 6,484 | 12,503 | 80,022 | 626,070 | 39,243 | 48,208 | 16,645 | 104,096 |

金額単位千円

| び燃料の在庫額ならびに半製品および仕掛品額 | | | | | 6 | |
|-----------------------|-----------|------------|------------|---------------------------|-----------|--|
| 本年 | | | | 本年末計の本年 初計に対する比 較増減 | 増 | |
| 製 造 品 | 原材料、燃料 | 半製品仕掛品 | 計 | | 新 規 取 得 | |
| 4,914,517 | 8,616,234 | 16,011,431 | 29,542,182 | △ 2,959,809 | 8,210,122 | |
| 1,315,112 | 677,233 | 413,537 | 2,405,882 | 194,639 | 306,542 | |
| 68,520 | 615,362 | 24,176 | 708,059 | △ 31,039 | 53,077 | |
| 32,205 | 20,755 | 7,129 | 60,089 | 11,470 | 69,552 | |
| 187,544 | 375,138 | 48,359 | 611,041 | △ 2,316 | 110,368 | |
| 21,571 | 35,497 | 6,126 | 63,194 | 5,187 | 14,481 | |
| 35,497 | 117,209 | 9,807 | 162,513 | △ 281,482 | 293,991 | |
| 3,655 | 18,314 | 1,782 | 23,751 | △ 2,278 | 14,016 | |
| 93,030 | 104,525 | 51,756 | 249,311 | △ 29,867 | 531,975 | |
| 13,721 | 54,684 | 1,308 | 69,713 | △ 25,628 | 23,999 | |
| 9,825 | 11,174 | 27,837 | 48,836 | △ 2,951 | 11,468 | |
| 275,779 | 184,645 | 73,856 | 534,280 | 82,080 | 345,595 | |
| 137,670 | 531,149 | 845,875 | 1,514,694 | △ 898,093 | 847,611 | |
| 1,031,226 | 2,311,943 | 1,544,998 | 4,888,167 | 683,670 | 2,031,628 | |
| 16,518 | 27,816 | 7,493 | 51,827 | 1,137 | 49,027 | |
| 315,739 | 194,334 | 155,654 | 665,727 | △ 228,105 | 217,580 | |
| 1,156,702 | 3,110,970 | 12,611,387 | 16,879,059 | △ 2,346,646 | 2,922,938 | |
| 126,046 | 106,088 | 99,245 | 331,379 | △ 34,132 | 38,320 | |
| 5,002 | 57,512 | 50,372 | 112,886 | △ 113,134 | 24,114 | |
| 69,155 | 61,886 | 30,734 | 161,775 | 57,679 | 303,840 | |

(続)

| 項 目 産業中分類 | 有形固定資産の増減額 | | | | | 7 製 製 造 品 出 荷 額 |
|-------------------------|------------|-----------------|---------|-----------|-----------------|-----------------------|
| | 加 額 | | 減 少 額 | | | |
| | 中古取得 | 建設仮勘定 の 増 | 除 却 額 | 減価償却額 | 建設仮勘定 の 減 | |
| 總 計 | 820,885 | 6,022,107 | 392,912 | 3,376,624 | 6,234,878 | 113,750,113 |
| 18食 料 品 製 造 業 | 205,308 | 113,785 | 39,603 | 217,898 | 39,746 | 18,690,359 |
| 20織 維 工 業 | 34,961 | 23,149 | 4,426 | 34,867 | 22,521 | 2,486,135 |
| 21衣服及び繊維製品製造業 | 14,873 | 7,495 | 210 | 5,214 | 81,360 | 361,148 |
| 22木 材 及 び 木 製 品 製 造 業 | 56,636 | 2,297 | 15,616 | 46,090 | 1,144 | 4,359,466 |
| 23家 具 及 び 装 備 品 製 造 業 | 1,853 | 850 | 1,047 | 3,251 | 15 | 380,741 |
| 24パルプ、紙及び紙加工品製造業 | 7,694 | 80,673 | 8,748 | 101,805 | 137,896 | 1,270,863 |
| 25印 刷 出 版 及 び 関 連 産 業 | 16,962 | 630 | 1,857 | 8,823 | — | 654,872 |
| 26化 学 工 業 | 29,150 | 614,039 | 5,552 | 100,621 | 727,419 | 1,973,883 |
| 27石 油 及 び 石 炭 製 品 製 造 業 | 455 | 651 | 1,341 | 12,371 | 103 | 872,728 |
| 28ゴ ム 製 品 製 造 業 | | | | | | |
| 29皮 革 及 び 皮 革 製 品 製 造 業 | 70 | — | 980 | 5,388 | — | 310,471 |
| 30窯業及び土石製品製造業 | 31,911 | 110,053 | 14,654 | 211,691 | 115,142 | 4,659,612 |
| 31鉄 鋼 業 | 129,092 | 79,767 | 14,956 | 395,409 | 13,030 | 5,379,850 |
| 32非 鉄 金 属 製 造 業 | 7,084 | 1,890,663 | 68,956 | 663,515 | 1,972,711 | 17,920,248 |
| 33金 属 製 品 製 造 業 | 44,005 | 4,110 | 3,214 | 11,253 | 974 | 740,272 |
| 34機 械 製 造 業 | 39,567 | 17,014 | 32,770 | 102,850 | 31,094 | 3,425,139 |
| 35電 気 機 械 器 具 製 造 業 | 152,772 | 2,737,362 | 108,775 | 1,380,428 | 2,811,727 | 47,509,167 |
| 36輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業 | 11,578 | 6,424 | 5,391 | 22,434 | 7,110 | 1,257,958 |
| 37精 密 機 械 器 具 製 造 業 | 5,718 | 2,827 | 57,408 | 27,049 | — | 557,183 |
| 38武 器 製 造 業 | | | | | | |
| 39そ の 他 の 製 造 業 | 31,196 | 330,318 | 7,408 | 25,667 | 272,886 | 940,018 |

金額単位千円

| 造 品 出 荷 額 等 | | | | 8 | 9 | 10 |
|-------------|---------|---------|-------------|-----------|-------------|------------|
| 加工賃収入額 | 修理料収入額 | くず廃物出荷額 | 計 | 内国消費税額 | 純 出 荷 額 | 付加価値額 |
| 2,117,646 | 125,551 | 299,097 | 116,292,407 | 2,029,310 | 114,263,097 | 26,499,044 |
| 59,840 | 5 | 26,577 | 18,776,781 | 1,668,242 | 17,108,539 | 3,818,630 |
| 95,913 | 508 | 2,665 | 2,585,221 | — | 2,585,221 | 514,152 |
| 175,673 | 387 | 627 | 537,835 | — | 537,835 | 209,136 |
| 47,182 | 10,649 | 10,287 | 4,427,584 | 2 | 4,427,582 | 1,234,483 |
| 2,118 | 2,529 | 1,104 | 386,492 | 90 | 386,402 | 155,174 |
| 3,135 | — | 641 | 1,274,639 | — | 1,274,639 | 157,894 |
| 7,995 | — | 633 | 663,500 | — | 663,500 | 385,057 |
| 72,300 | — | 382 | 2,046,565 | 60 | 2,046,505 | 375,572 |
| — | — | — | 872,728 | — | 872,728 | 61,361 |
| 24,058 | — | 4,507 | 339,036 | — | 339,036 | 60,805 |
| 15,224 | 118 | 1,973 | 4,676,927 | 455 | 4,676,472 | 2,341,908 |
| 19,595 | 2,100 | 231 | 5,401,776 | — | 5,401,776 | 488,584 |
| 9,973 | — | 101,149 | 18,031,370 | — | 18,031,370 | 3,178,501 |
| 248,148 | 7,261 | 10,970 | 1,006,651 | — | 1,006,651 | 453,251 |
| 325,535 | 39,834 | 19,277 | 3,809,785 | 26,655 | 3,783,130 | 1,701,425 |
| 785,842 | 53,706 | 102,820 | 48,451,535 | 313,564 | 48,137,971 | 10,392,066 |
| 64,235 | 4,677 | 4,173 | 1,331,043 | — | 1,331,043 | 366,519 |
| 70,270 | 1,313 | 5,599 | 634,365 | 37 | 634,328 | 193,893 |
| 90,610 | 2,464 | 5,482 | 1,038,574 | 20,205 | 1,018,369 | 410,633 |

(従業者3人以下の事業所)

| 項目 産業中分類 | 事業所数 (経営組織別) | | | | | 個人 | 組合 | その他 | 合計 |
|------------------|--------------|------|------|------|-----|-------|----|-----|-------|
| | 会社 | | | | 計 | | | | |
| | 株式会社 | 合資会社 | 合名会社 | 有限会社 | | | | | |
| 総計 | 51 | 26 | 4 | 78 | 159 | 3,494 | 15 | 5 | 3,673 |
| 18食料品製造業 | 24 | 15 | 3 | 39 | 81 | 1,360 | 13 | 1 | 1,455 |
| 20繊維工業 | 2 | 2 | — | 8 | 12 | 221 | — | — | 233 |
| 21衣服及び繊維製品製造業 | — | — | — | 2 | 2 | 143 | — | 1 | 146 |
| 22木材及び木製品製造業 | 10 | 2 | — | 11 | 23 | 544 | 1 | 1 | 569 |
| 23家具及び装備品製造業 | 1 | — | — | 3 | 4 | 218 | — | — | 222 |
| 24パルプ、紙及び紙加工品製造業 | 1 | — | — | — | 1 | 41 | — | 1 | 43 |
| 25印刷出版及び関連産業 | 1 | — | — | 1 | 2 | 68 | — | — | 70 |
| 26化学工業 | 4 | — | — | 3 | 7 | 81 | 1 | — | 89 |
| 28ゴム製品製造業 | — | — | — | — | — | 13 | — | — | 13 |
| 29皮革及び皮革製品製造業 | — | — | — | — | — | 16 | — | — | 16 |
| 30窯業及び土石製品製造業 | 3 | 5 | 1 | — | 9 | 315 | — | — | 324 |
| 32非鉄金属製造業 | — | — | — | — | — | 1 | — | — | 1 |
| 33金属製品製造業 | — | 1 | — | 2 | 3 | 93 | — | — | 96 |
| 34機械製造業 | — | 1 | — | 4 | 5 | 41 | — | — | 46 |
| 35電気機械器具製造業 | 2 | — | — | 1 | 3 | 18 | — | — | 21 |
| 36輸送用機械器具製造業 | 1 | — | — | 2 | 3 | 74 | — | — | 77 |
| 37精密機械器具製造業 | — | — | — | 1 | 1 | 14 | — | — | 15 |
| 39その他の製造業 | 2 | — | — | 1 | 3 | 233 | — | 1 | 237 |

| 従業者数 (人) | | | | | | 製造品出荷額等 (千円) | | | | |
|----------|-----|-------|--------------|-------|-------|--------------|-----------|---------|--------|-----------|
| 常用労働者 | | | 個人事業主及び家族従業者 | | | 合計 | 製造品出荷額 | 加工賃収入額 | 修理料収入額 | 合計 |
| 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | | | | | |
| 1,940 | 428 | 2,368 | 4,438 | 1,733 | 6,171 | 8,539 | 3,228,402 | 193,210 | 21,305 | 3,442,917 |
| 735 | 168 | 903 | 1,770 | 1,020 | 2,790 | 3,693 | 2,033,188 | 37,569 | 20 | 2,070,777 |
| 42 | 66 | 108 | 234 | 187 | 421 | 529 | 121,778 | 27,092 | 330 | 149,200 |
| 23 | 66 | 89 | 145 | 75 | 220 | 309 | 21,211 | 29,228 | 536 | 50,975 |
| 356 | 20 | 376 | 711 | 89 | 800 | 1,176 | 323,239 | 25,261 | 750 | 349,250 |
| 162 | 3 | 165 | 277 | 8 | 285 | 450 | 156,981 | 7,096 | 2,240 | 166,317 |
| 18 | 5 | 23 | 55 | 29 | 84 | 107 | 33,874 | 539 | — | 34,413 |
| 38 | 3 | 41 | 85 | 25 | 110 | 151 | 38,839 | 1,571 | — | 40,410 |
| 44 | 11 | 55 | 98 | 50 | 148 | 203 | 123,094 | 4,348 | 100 | 127,542 |
| — | — | — | 18 | 8 | 26 | 26 | 4,152 | 572 | 4 | 4,728 |
| 3 | — | 3 | 19 | 5 | 24 | 27 | 10,030 | 1,798 | 350 | 12,178 |
| 252 | 27 | 279 | 435 | 109 | 544 | 823 | 171,039 | 4,997 | 325 | 176,361 |
| 1 | — | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | — | 638 | — | 638 |
| 58 | 3 | 61 | 130 | 10 | 140 | 201 | 31,535 | 13,685 | 2,367 | 47,587 |
| 36 | 1 | 37 | 53 | 4 | 57 | 94 | 20,134 | 10,107 | 4,713 | 34,954 |
| 22 | 5 | 27 | 19 | 4 | 23 | 50 | 3,153 | 6,660 | 1,667 | 11,480 |
| 35 | 1 | 36 | 97 | 3 | 100 | 136 | 26,037 | 5,863 | 5,011 | 36,911 |
| 12 | 2 | 14 | 18 | 1 | 19 | 33 | 7,980 | 2,511 | 30 | 10,521 |
| 103 | 47 | 150 | 273 | 105 | 378 | 528 | 102,138 | 13,675 | 2,862 | 118,675 |



発 育 と 健 康

—昭和34年度・学校衛生統計の概要—

I 調査方法等について

1. 目的

学生、生徒、児童、幼児の発育状況および健康状態を調査して学校衛生行政上の基礎資料とする。

2. 調査事項

学生、生徒、児童、幼児について

イ 発育計測値——身長、体重、胸囲、座高

ロ 疾病異常——栄養要注意、脊柱異常、胸郭異常、屈折異常、近視、弱視、色神異常、トラホーム、難聴、中耳炎、腺様増殖症、蓄膿症、扁桃腺肥大、むし歯、伝染性皮膚病、身体虚弱、運動機能障害、心臓疾患

3. 調査の対象

幼稚園および特殊教育学校については全数を対象とし、高等学校、中学校、小学校については無作為抽出法により、それぞれ抽出率 $\frac{1}{3}$ $\frac{1}{5}$ $\frac{1}{10}$ にて学校を抽出し、これらの学校の学生生徒、児童の全数を調査対象とした。

II 調査結果について

以下は本年4月に県下の抽出各学校において行つた学徒の健康診断の結果をまとめたものである。なお結核性疾患、寄生虫卵および職員の調査については調査期日の関係上今回は掲げていない。

学徒の体格はすでに知られているとおり各年令とも年々向上しつつあり、今年度においても依然向上の傾向が認められる。

疾病異常については最近トラホーム、栄養要注意などが減少の傾向にあるが一方においてはむし歯、扁桃腺肥大など増加の傾向にあるものもあり、全般的には増加の傾向が見うけられるが、これは学校保健法の施行に伴つて関係当事者が調査実施に当つて細密に検査をしたためと思われる。

1. 学徒の発育

昭和34年度における学生、生徒、児童、幼児の身長、体重、胸囲、座高の発育は第1表のとおりであるが、この表で6才は小学校第1学年に相当し、したがつて12才は中学校第1学年、15才は高等学校第1学年にあたる。

学徒の身体発育は昭和28.9年ごろに大体戦前の状態に回復しているがその後も逐年大型化していることが認められる。なお小学校、中学校、高等学校の最上級生の身長、体重、胸囲、座高の平均値を33年度の全国平均に比較すると下表のようになり、これによると中学校および高等学校においては、ほぼ全国水準に達していることが認められる。以上の関係は第1図および第2図のとおりである。

比 較 (男、女)

| 区 分 | 身 長(cm) | | 体 重(kg) | | | | 胸 囲(cm) | | 座 高(cm) | | | | | | | |
|----------------------------------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | 男 | | 女 | | | | 男 | | 女 | | | | | |
| | 33年 | 34年 | 33年 | 34年 | 33年 | 34年 | 33年 | 34年 | 33年 | 34年 | 33年 | 34年 | | | | |
| 小 学 校 (全 国 6 年(11才)) (県) | 135.1 | —136.6 | — 30.2 | — 31.3 | — 65.9 | — 65.7 | — 73.8 | — 75.0 | — | — | — | — | — | — | | |
| | 134.5 | 135.0 | 135.5 | 136.4 | 30.0 | 30.2 | 30.9 | 31.3 | 65.7 | 65.5 | 65.5 | 65.2 | 73.6 | 73.7 | 74.2 | 74.8 |
| 中 学 校 (全 国 3 年(14才)) (県) | 153.6 | —149.9 | — 44.2 | — 44.6 | — 75.8 | — 76.2 | — 83.0 | — 82.7 | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 153.5 | 154.0 | 149.9 | 150.0 | 43.9 | 44.5 | 44.6 | 45.0 | 75.4 | 76.0 | 76.7 | 77.1 | 82.7 | 83.2 | 82.0 | 82.8 |
| 高 等 学 校 (全 国 (3 年17才)) (県) | 164.3 | —153.5 | — 55.7 | — 50.3 | — 84.1 | — 80.7 | — 89.7 | — 84.7 | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 164.5 | 164.3 | 153.6 | 153.4 | 56.0 | 55.5 | 50.0 | 50.1 | 84.3 | 83.5 | 80.1 | 80.5 | 89.9 | 89.5 | 84.6 | 84.7 |

注 (34年度の全国の平均は公表されていないので削除しておく。)

2. 学徒の健康状態

疾病異常の被患率は第2表のとおりである。これによるとむし歯の被患率が最大でこれに次いで大きいのは扁桃腺肥大、近視および伝染性の皮膚疾患となつている。むし歯は小学校児童については76%の高率を示し5人中4人近くまでむし歯にかかつてることになる。なお小、中、高校においても増加の傾向が見られる。扁桃腺肥大は幼稚園、小学校に多く中学校、高校になるにしたがつて減少している。(第3図)しかし年次的に見ると小、中学校は年々増加の傾向にあり、特に小学校の児童の上昇傾向がめだつている。

次に率の大きいのは近視であるが近視は高校、中学校においては依然として増加の傾向にあり、また女子が男子よりも多い現象を示している。(第4図)

なお本年特に小学校の伝染性皮膚疾患が多いのは一部の学校において集団的に患者が発生したためのものである。

(注) この調査結果は概数であるから後日文部大臣の公表をもつて確定数とする。

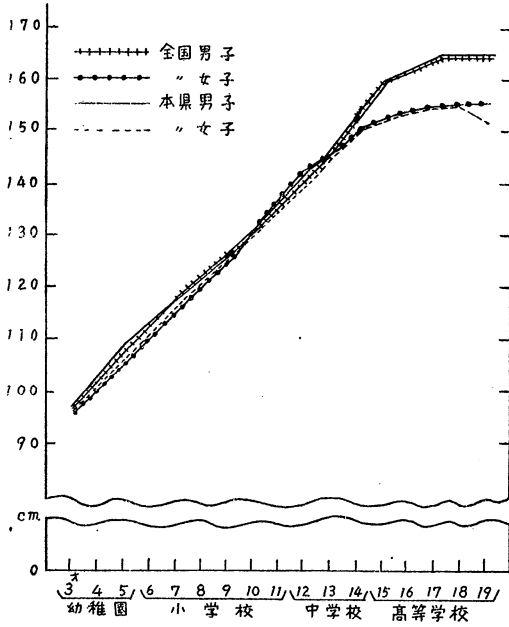
学校種別、男女別、年次別、平均体位比較表

(単位 cm kg)

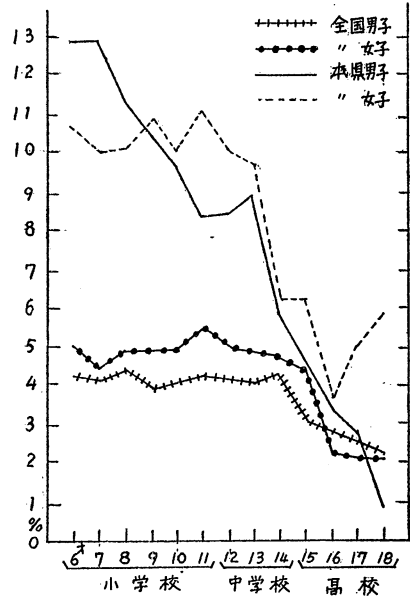
| 学 校 年 令 別 | 区 分 年 次 | 身 長 | | 体 重 | | 胸 囲 | | 坐 高 | |
|--------------|------------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| | | 男 cm | 女 cm | 男 kg | 女 kg | 男 cm | 女 cm | 男 cm | 女 cm |
| 幼 稚 園 3 才 | 昭和30年 | 86.2 | 94.4 | 15.0 | 14.3 | 52.5 | 51.1 | 55.3 | 54.8 |
| | // 31年 | 95.1 | 94.7 | 14.3 | 14.0 | 52.0 | 51.5 | 55.3 | 54.5 |
| | // 32年 | 95.2 | 93.8 | 14.5 | 14.0 | 52.4 | 51.2 | 55.4 | 55.1 |
| | // 33年 | 96.1 | 94.7 | 14.7 | 14.1 | 51.8 | 50.8 | 56.5 | 55.6 |
| | // 34年 | 96.6 | 95.7 | 14.8 | 14.5 | 52.2 | 51.2 | 55.8 | 55.8 |
| 4 才 | // 30年 | 102.0 | 100.4 | 16.2 | 15.5 | 53.9 | 52.5 | 58.8 | 58.1 |
| | // 31年 | 101.8 | 100.3 | 15.9 | 15.5 | 53.9 | 52.6 | 58.4 | 56.6 |
| | // 32年 | 101.8 | 100.6 | 16.2 | 15.8 | 53.7 | 52.4 | 59.0 | 58.0 |
| | // 33年 | 102.2 | 100.6 | 16.4 | 15.7 | 53.6 | 52.3 | 59.1 | 58.2 |
| | // 34年 | 102.1 | 100.8 | 16.3 | 15.8 | 53.9 | 52.4 | 58.7 | 58.1 |
| 5 才 | // 30年 | 106.7 | 105.5 | 17.6 | 17.0 | 55.2 | 53.8 | 60.8 | 60.2 |
| | // 31年 | 106.8 | 105.8 | 17.5 | 17.1 | 55.0 | 53.8 | 61.1 | 60.4 |
| | // 32年 | 106.9 | 105.8 | 17.5 | 17.0 | 54.9 | 53.5 | 61.1 | 60.5 |
| | // 33年 | 107.1 | 105.9 | 17.6 | 17.1 | 55.1 | 53.7 | 61.4 | 60.9 |
| | // 34年 | 107.4 | 105.6 | 17.8 | 17.2 | 55.2 | 53.9 | 61.4 | 60.7 |
| 小 学 校 6 才 | // 30年 | 110.1 | 109.5 | 18.9 | 18.3 | 55.9 | 54.3 | 62.9 | 62.6 |
| | // 31年 | 110.7 | 109.8 | 18.9 | 18.5 | 56.3 | 54.9 | 62.8 | 62.3 |
| | // 32年 | 110.5 | 109.6 | 19.0 | 18.4 | 56.1 | 54.5 | 62.8 | 62.4 |
| | // 33年 | 110.7 | 109.9 | 19.0 | 18.4 | 56.3 | 54.8 | 62.9 | 62.5 |
| | // 34年 | 111.0 | 109.9 | 18.8 | 18.3 | 56.1 | 54.6 | 63.0 | 62.3 |
| 7 才 | // 30年 | 115.2 | 114.4 | 20.6 | 20.0 | 58.3 | 56.4 | 65.3 | 64.9 |
| | // 31年 | 115.7 | 114.7 | 20.8 | 20.3 | 57.3 | 56.5 | 65.6 | 64.9 |
| | // 32年 | 115.6 | 114.8 | 20.9 | 20.3 | 58.1 | 56.4 | 65.1 | 64.8 |
| | // 33年 | 116.0 | 114.9 | 20.9 | 20.3 | 58.2 | 56.7 | 65.2 | 64.7 |
| | // 34年 | 116.2 | 115.1 | 20.9 | 20.3 | 58.0 | 56.4 | 65.3 | 64.8 |
| 8 才 | // 30年 | 120.0 | 119.3 | 22.8 | 22.2 | 60.0 | 58.2 | 67.4 | 67.0 |
| | // 31年 | 120.7 | 119.6 | 23.0 | 22.4 | 60.2 | 58.3 | 67.6 | 67.1 |
| | // 32年 | 120.8 | 119.9 | 22.8 | 22.4 | 59.9 | 58.1 | 67.5 | 67.2 |
| | // 33年 | 120.9 | 120.1 | 23.1 | 22.6 | 60.2 | 58.5 | 67.6 | 67.3 |
| | // 34年 | 121.0 | 120.2 | 23.0 | 22.6 | 60.0 | 58.4 | 67.6 | 67.3 |
| 9 才 | // 30年 | 124.7 | 124.4 | 25.0 | 24.6 | 61.7 | 60.1 | 69.5 | 69.3 |
| | // 31年 | 125.1 | 124.7 | 25.0 | 24.7 | 61.9 | 60.3 | 69.5 | 69.4 |
| | // 32年 | 125.3 | 124.7 | 25.1 | 24.6 | 61.7 | 60.0 | 69.6 | 69.4 |
| | // 33年 | 125.8 | 124.8 | 25.2 | 24.8 | 62.1 | 60.4 | 69.6 | 69.4 |
| | // 34年 | 125.9 | 125.2 | 25.2 | 25.0 | 61.9 | 60.4 | 69.9 | 69.4 |

| 学校種別 | 年令別 | 区分 年次 | 身長 cm | | 体重 kg | | 胸囲 cm | | 座高 cm | |
|--------------|-----|----------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 10 才 | // | 30年 | 129.5 | 129.6 | 27.4 | 27.4 | 63.8 | 62.3 | 71.4 | 71.6 |
| | // | 31年 | 129.9 | 130.3 | 27.7 | 27.6 | 63.9 | 62.6 | 71.4 | 71.9 |
| | // | 32年 | 129.9 | 129.7 | 27.4 | 27.3 | 63.5 | 62.2 | 71.4 | 71.5 |
| | // | 33年 | 130.1 | 130.0 | 27.5 | 27.6 | 63.7 | 62.3 | 71.7 | 71.8 |
| | // | 34年 | 130.4 | 130.5 | 27.5 | 27.7 | 63.5 | 62.4 | 71.8 | 72.1 |
| 11 才 | // | 30年 | 133.7 | 134.7 | 29.7 | 30.5 | 65.5 | 64.9 | 73.1 | 74.1 |
| | // | 31年 | 134.4 | 135.8 | 30.2 | 31.1 | 66.1 | 65.3 | 73.3 | 74.4 |
| | // | 32年 | 134.6 | 135.7 | 30.3 | 31.0 | 65.9 | 65.3 | 73.5 | 74.4 |
| | // | 33年 | 134.5 | 135.5 | 30.0 | 30.9 | 65.7 | 65.5 | 73.6 | 74.2 |
| | // | 34年 | 135.0 | 136.4 | 30.2 | 31.3 | 65.5 | 65.2 | 73.7 | 74.8 |
| 中学校 12 才 | // | 30年 | 138.9 | 140.7 | 33.8 | 35.3 | 68.3 | 68.9 | 75.6 | 77.2 |
| | // | 31年 | 139.2 | 140.8 | 33.5 | 35.4 | 68.1 | 68.8 | 75.5 | 77.2 |
| | // | 32年 | 139.9 | 142.4 | 33.8 | 35.4 | 68.0 | 69.0 | 75.8 | 77.6 |
| | // | 33年 | 140.5 | 142.5 | 33.8 | 36.3 | 68.1 | 70.3 | 75.9 | 78.0 |
| | // | 34年 | 140.5 | 142.0 | 33.9 | 35.7 | 68.1 | 69.1 | 76.2 | 78.0 |
| 13 才 | // | 30年 | 145.5 | 145.7 | 38.1 | 39.5 | 71.1 | 72.5 | 77.2 | 79.8 |
| | // | 31年 | 145.6 | 145.6 | 37.9 | 40.1 | 71.3 | 72.7 | 78.7 | 80.1 |
| | // | 32年 | 146.0 | 145.9 | 37.9 | 40.0 | 71.3 | 72.7 | 78.8 | 80.0 |
| | // | 33年 | 146.8 | 147.0 | 38.6 | 40.7 | 71.7 | 73.5 | 79.3 | 80.6 |
| | // | 34年 | 147.7 | 147.0 | 39.2 | 41.2 | 72.0 | 73.9 | 79.7 | 80.9 |
| 14 才 | // | 30年 | 152.0 | 148.9 | 43.4 | 43.7 | 74.9 | 75.7 | 82.1 | 81.9 |
| | // | 31年 | 152.1 | 149.0 | 43.3 | 44.2 | 75.3 | 75.9 | 82.2 | 81.9 |
| | // | 32年 | 152.5 | 149.2 | 43.5 | 44.0 | 74.9 | 75.6 | 82.3 | 81.9 |
| | // | 33年 | 153.5 | 149.9 | 43.9 | 44.6 | 75.4 | 76.7 | 82.7 | 82.0 |
| | // | 34年 | 154.0 | 150.0 | 44.5 | 45.0 | 76.0 | 77.1 | 83.2 | 82.8 |
| 高等学校 15 才 | // | 30年 | 158.3 | 151.7 | 48.5 | 46.7 | 78.3 | 77.8 | 86.0 | 83.9 |
| | // | 31年 | 159.8 | 151.7 | 49.8 | 48.1 | 79.8 | 77.7 | 86.7 | 83.7 |
| | // | 32年 | 160.0 | 151.9 | 50.1 | 47.0 | 79.2 | 77.8 | 87.1 | 84.0 |
| | // | 33年 | 160.5 | 151.7 | 51.0 | 47.9 | 80.1 | 77.9 | 87.4 | 84.0 |
| | // | 34年 | 160.2 | 152.2 | 50.4 | 47.8 | 79.1 | 78.8 | 86.8 | 84.2 |
| 16 才 | // | 30年 | 161.5 | 152.5 | 51.7 | 49.6 | 81.0 | 79.7 | 87.8 | 84.4 |
| | // | 31年 | 162.4 | 152.2 | 52.7 | 49.1 | 82.1 | 79.3 | 88.3 | 84.0 |
| | // | 32年 | 162.3 | 152.5 | 53.2 | 48.9 | 82.2 | 80.1 | 88.6 | 84.3 |
| | // | 33年 | 162.9 | 153.0 | 53.6 | 49.3 | 82.5 | 79.4 | 88.9 | 84.5 |
| | // | 34年 | 162.8 | 153.0 | 53.5 | 49.7 | 81.9 | 79.9 | 88.3 | 84.6 |
| 17 才 | // | 30年 | 163.0 | 153.2 | 54.3 | 49.6 | 81.9 | 80.4 | 89.0 | 84.6 |
| | // | 31年 | 163.8 | 152.8 | 55.0 | 50.6 | 83.9 | 80.4 | 89.3 | 84.1 |
| | // | 32年 | 164.3 | 153.1 | 55.1 | 49.8 | 83.6 | 80.6 | 89.6 | 84.6 |
| | // | 33年 | 164.5 | 153.6 | 56.0 | 50.0 | 84.3 | 80.1 | 89.9 | 84.6 |
| | // | 34年 | 164.3 | 153.4 | 55.5 | 50.1 | 83.5 | 80.5 | 89.5 | 84.7 |
| 18 才 | // | 30年 | 163.4 | 153.0 | 55.3 | 50.2 | 83.5 | 80.8 | 89.2 | 84.3 |
| | // | 31年 | 164.0 | 153.4 | 56.0 | 51.8 | 84.2 | 81.7 | 89.6 | 84.6 |
| | // | 32年 | 163.3 | 152.3 | 55.4 | 50.0 | 84.3 | 81.6 | 89.3 | 84.4 |
| | // | 33年 | 163.5 | 152.6 | 55.9 | 50.2 | 84.7 | 81.0 | 89.5 | 84.0 |
| | // | 34年 | 163.8 | 152.9 | 55.9 | 50.0 | 84.1 | 81.2 | 89.5 | 84.1 |
| 19 才 | // | 30年 | 163.8 | 150.7 | 55.5 | 50.2 | 84.3 | 81.4 | 89.5 | 83.3 |
| | // | 31年 | 163.9 | 152.5 | 55.7 | 50.6 | 84.7 | 80.7 | 89.4 | 84.5 |
| | // | 32年 | 164.4 | 151.8 | 56.2 | 50.7 | 84.5 | 81.7 | 89.4 | 82.8 |
| | // | 33年 | 164.1 | 156.4 | 57.0 | 50.5 | 85.0 | 80.8 | 89.4 | 85.1 |
| | // | 34年 | 163.7 | 150.7 | 56.1 | 49.2 | 84.7 | 81.7 | 89.3 | 83.2 |

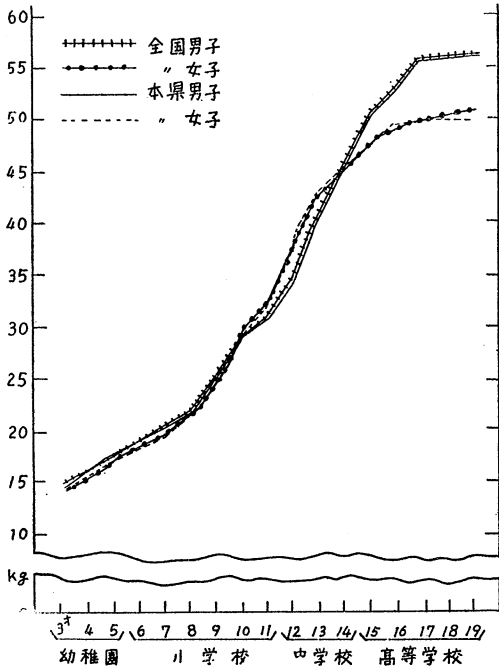
オ1図
昭和34年度生徒の身長年令別発育
と全国平均(33年度)の比較



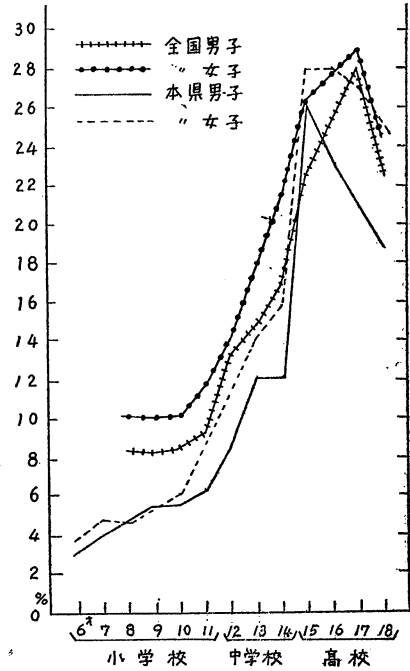
オ3図
本県の年令別扁桃腺肥大の該
当率と全国平均(33)との比較



オ2図
昭和34年度生徒の体重年令別
発育と全国平均(33年度)の比較



オ4図
本県の年令別近視の該
当率と全国平均(33年度)との比較



第2表

生徒、児童、幼児の疾病異常該当者数および率（一般検診）

昭和三十四年度

| 男 | | 在児童 生 徒 数 | 栄 養 要 注 意 | 背 柱 異 常 | 胸 郭 異 常 | 目 | | | | | | | | 耳 | | |
|------------------|--------|--------------------|-----------------------|------------------|------------------|--------|--------|--------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|--------------------|-------------|------------------|-----|
| 区 分 | 近 視 | | | | | 遠 視 | 乱 視 | 弱 視 (両 眼) | 色 異 神 常 | ト ホ ー ム | 結 膜 炎 | そ の 他 疾 | 難 聴 (両 耳) | 中 耳 炎 | そ の 他 疾 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 3才 |
| 幼 稚 園 | 3才 | 96 | — | — | — | 3 | — | — | — | — | 1 | 4 | — | — | — | — |
| | 4 | 607 | 4 | 2 | 4 | 19 | — | — | — | 3 | 10 | 11 | 1 | 5 | 2 | 1 |
| | 5 | 2,538 | 20 | 21 | 60 | 82 | — | — | — | 23 | 32 | 50 | 10 | 10 | 16 | 2 |
| | 6以上 | 5 | — | — | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 計 | 3,246 | 24 | 23 | 65 | 104 | — | — | — | 26 | 43 | 65 | 11 | 15 | 18 | 3 |
| | 率 | — | 0.8 | 0.8 | 2.1 | 3.5 | — | — | — | 0.9 | 1.4 | 2.1 | 0.4 | 0.5 | 0.6 | 0.1 |
| 小 学 校 | 6才 | 2,423 | 10 | 43 | 83 | 76 | 1 | — | 2 | 43 | 89 | 49 | 9 | 11 | 19 | 4 |
| | 7 | 2,498 | 8 | 22 | 70 | 99 | 3 | — | 2 | 56 | 52 | 26 | 12 | 18 | 13 | 1 |
| | 8 | 2,704 | 7 | 10 | 45 | 118 | 1 | — | 1 | 77 | 76 | 34 | 9 | 8 | 8 | 3 |
| | 9 | 2,802 | 10 | 21 | 58 | 148 | 1 | 6 | 4 | 89 | 71 | 28 | 6 | 11 | 14 | 2 |
| | 10 | 2,755 | 7 | 22 | 37 | 145 | 2 | 6 | 3 | 84 | 62 | 21 | 8 | 13 | 15 | 3 |
| | 11 | 2,825 | 8 | 19 | 29 | 172 | — | 10 | 10 | 95 | 66 | 39 | 12 | 15 | 14 | 4 |
| | 12以上 | 6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 計 率 | 16,013 | 50 | 137 | 322 | 758 | 8 | 22 | 22 | 444 | 415 | 197 | 56 | 76 | 83 | 17 |
| 中 学 校 | 12才 | 4,772 | 8 | 37 | 29 | 396 | 4 | 3 | 25 | 166 | 128 | 56 | 31 | 22 | 23 | 7 |
| | 13 | 3,494 | 6 | 22 | 23 | 410 | 8 | 7 | 25 | 116 | 98 | 34 | 16 | 16 | 24 | 3 |
| | 14 | 4,271 | 5 | 34 | 14 | 494 | 7 | 5 | 25 | 111 | 117 | 34 | 15 | 24 | 17 | 6 |
| | 15以上 | 68 | — | 1 | — | 7 | — | — | — | — | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| | 計 率 | 12,605 | 19 | 94 | 66 | 1,307 | 19 | 15 | 75 | 393 | 346 | 125 | 63 | 64 | 65 | 17 |
| 高 等 学 校 | 15才 | 3,026 | 10 | 14 | 33 | 783 | 9 | 11 | 3 | 155 | 63 | 34 | 5 | 30 | 13 | 5 |
| | 16 | 3,111 | 8 | 7 | 19 | 713 | 3 | 19 | 2 | 100 | 55 | 44 | 4 | 26 | 24 | 7 |
| | 17 | 3,106 | 5 | 8 | 14 | 635 | 1 | 14 | 7 | 127 | 57 | 36 | 5 | 35 | 10 | 12 |
| | 18 | 517 | — | — | — | 92 | — | 1 | 6 | 15 | 6 | 8 | 1 | — | — | — |
| | 19 | 66 | — | — | — | 13 | — | — | 1 | 2 | 1 | 3 | — | — | — | — |
| | 20以上 | 107 | — | — | — | 30 | — | 1 | 3 | 2 | — | 1 | 2 | — | — | — |
| | 計 率 | 9,933 | 23 | 29 | 66 | 2,266 | 13 | 46 | 22 | 401 | 182 | 126 | 17 | 91 | 47 | 24 |
| 率 | — | 0.2 | 0.3 | 0.7 | 23.3 | 0.1 | 0.5 | 0.2 | 4.1 | 1.9 | 1.3 | 0.2 | 1.0 | 0.5 | 0.3 | |

| 鼻及び咽頭 | | | | 伝染性疾 の皮患 | 心臓の 疾患 | 身体虚 弱 | 運障 動機 能害 | そ患 の及 び異 常疾 | 歯 | | | 備 考 |
|---------|---------------|----------|-------------------|-------------|-----------|----------|----------------|----------------------|---------|--------------|----------------------------|--------|
| 蓄膿 症 | アイ デノ ド | 扁桃 腺大 | そ鼻の の咽疾 他頭患 | | | | | | む 処置 | し 完了 者 | 歯 未 処 置 者 あ | |
| | | | | — | — | 3 | — | 1 | | | | — |
| 1 | 11 | 57 | 1 | 7 | 2 | 3 | 1 | — | 13 | 442 | — | |
| 11 | 19 | 234 | 18 | 36 | 5 | 7 | 1 | 4 | 52 | 2,113 | 5 | |
| — | 1 | 2 | — | — | — | 1 | 1 | 2 | — | 5 | — | |
| 12 | 31 | 296 | 19 | 44 | 7 | 11 | 3 | 6 | 69 | 2,619 | 5 | |
| 0.4 | 1.0 | 9.7 | 0.6 | 1.4 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.2 | 2.3 | 86.8 | 0.2 | |
| 11 | 3 | 310 | 48 | 104 | 5 | 6 | 6 | 33 | 45 | 1,863 | 25 | |
| 25 | 4 | 317 | 74 | 146 | 11 | 4 | 5 | 41 | 49 | 1,855 | 28 | |
| 26 | 3 | 311 | 65 | 132 | 9 | 6 | 6 | 29 | 105 | 2,148 | 41 | |
| 34 | — | 293 | 52 | 154 | 11 | 5 | 4 | 34 | 141 | 2,118 | 55 | |
| 20 | — | 264 | 69 | 104 | 12 | 1 | 3 | 18 | 136 | 1,948 | 58 | |
| 14 | — | 244 | 61 | 129 | 14 | 2 | 7 | 19 | 144 | 1,890 | 62 | |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 2 | — | |
| 130 | 10 | 1,739 | 369 | 769 | 62 | 24 | 31 | 174 | 620 | 11,824 | 269 | |
| 0.8 | 0.06 | 11.0 | 2.3 | 4.8 | 0.4 | 0.2 | 0.2 | 1.1 | 3.9 | 75.1 | 1.7 | |
| 32 | — | 402 | 49 | 94 | 18 | 6 | 6 | 42 | 238 | 2,953 | 314 | |
| 33 | — | 302 | 29 | 51 | 11 | 2 | 10 | 16 | 178 | 1,973 | 302 | |
| 36 | — | 229 | 17 | 38 | 5 | 2 | 8 | 20 | 232 | 2,412 | 381 | |
| 8 | — | 6 | — | — | — | — | 2 | 1 | 4 | 32 | 5 | |
| 109 | — | 939 | 95 | 183 | 34 | 10 | 26 | 79 | 652 | 7,370 | 1,002 | |
| 0.9 | — | 7.9 | 0.8 | 1.5 | 0.3 | 0.08 | 0.2 | 0.6 | 5.3 | 60.2 | 8.2 | |
| 59 | — | 120 | 60 | 76 | 15 | 1 | 2 | 14 | 199 | 1,593 | 87 | |
| 44 | — | 91 | 36 | 41 | 11 | — | 3 | 7 | 248 | 1,690 | 123 | |
| 27 | — | 76 | 61 | 30 | 10 | 3 | 5 | 9 | 316 | 1,698 | 145 | |
| 6 | — | 4 | 14 | 2 | — | — | 1 | 6 | 46 | 274 | 18 | |
| — | — | 2 | 1 | — | — | — | — | 1 | 4 | 34 | 7 | |
| — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | 17 | 47 | 9 | |
| 138 | — | 293 | 172 | 149 | 36 | 4 | 11 | 38 | 830 | 5,336 | 389 | |
| 1.8 | — | 3.5 | 2.0 | 1.5 | 0.4 | 0.04 | 0.1 | 0.4 | 8.7 | 55.7 | 4.1 | |

生徒、児童、幼児の疾病異常該当者数および率 (一般検診)

昭和三十四年度

| 女 | | 目 | | | | | | | | | | | | | 耳 | | |
|------------------|------|-------------------|---------------|------------------|------------------|--------|--------|--------|--------------------|------------------|----------------------------|-------------|------------------|--------------------|-------------|------------------|--|
| 区 | 分 | 在児童 学幼児 生徒数 | 栄養 要注 意 | 脊 柱 異 常 | 胸 郭 異 常 | 近 視 | 遠 視 | 乱 視 | 弱 (両 眼 視) | 色 異 神 常 | ト ホ ー ム ラ ム | 結 膜 炎 | そ の 眼 疾 | 難 (両 耳 聴) | 中 耳 炎 | そ の 耳 疾 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 幼 稚 園 | 3才 | 94 | — | — | — | 4 | — | — | — | — | — | 1 | — | — | — | — | |
| | 4 | 537 | 1 | — | 3 | 15 | — | — | — | — | 12 | 12 | 1 | 2 | — | — | |
| | 5 | 2,575 | 12 | 5 | 25 | 120 | — | — | — | 5 | 31 | 40 | 14 | 13 | 16 | 2 | |
| | 6以上 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 計 | 3,206 | 13 | 5 | 28 | 139 | — | — | — | 5 | 43 | 53 | 15 | 15 | 16 | 2 | |
| | 率 | — | 0.4 | 0.2 | 0.9 | 4.8 | — | — | — | 0.2 | 1.5 | 1.8 | 0.5 | 0.6 | 0.6 | 0.07 | |
| 小 学 校 | 6才 | 2,257 | 12 | 19 | 28 | 79 | — | — | 1 | 1 | 92 | 43 | 7 | 9 | 10 | 6 | |
| | 7 | 2,358 | 3 | 18 | 33 | 103 | 3 | — | 1 | 5 | 91 | 33 | 12 | 21 | 7 | 1 | |
| | 8 | 2,546 | 12 | 18 | 29 | 110 | 1 | 2 | 2 | 8 | 69 | 44 | 10 | 14 | 2 | 1 | |
| | 9 | 2,627 | 8 | 19 | 47 | 138 | 7 | 3 | 5 | 4 | 101 | 32 | 13 | 9 | 3 | 2 | |
| | 10 | 2,596 | 4 | 14 | 18 | 152 | 1 | 2 | 6 | 5 | 96 | 28 | 4 | 12 | 4 | 4 | |
| | 11 | 2,833 | 6 | 22 | 21 | 243 | — | 12 | 14 | 12 | 100 | 42 | 15 | 14 | 10 | 1 | |
| | 12以上 | 6 | — | — | — | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 計 | 15,223 | 45 | 110 | 176 | 826 | 12 | 19 | 29 | 35 | 549 | 222 | 61 | 79 | 36 | 15 | |
| 率 | — | 0.3 | 0.7 | 1.2 | 5.6 | 0.08 | 0.1 | 0.2 | 0.2 | 3.6 | 1.5 | 0.4 | 0.6 | 0.2 | 0.1 | | |
| 中 学 校 | 12才 | 4,578 | 4 | 41 | 18 | 502 | 2 | 4 | 34 | 17 | 139 | 62 | 32 | 15 | 23 | 2 | |
| | 13 | 3,215 | 4 | 17 | 7 | 427 | 1 | 4 | 31 | 17 | 90 | 53 | 12 | 16 | 10 | 3 | |
| | 14 | 4,051 | 4 | 29 | 7 | 627 | 12 | 5 | 49 | 16 | 125 | 32 | 14 | 22 | 2 | 3 | |
| | 15以上 | 47 | 1 | 1 | — | 7 | — | — | — | — | — | 2 | — | — | — | — | |
| | 計 | 11,891 | 13 | 88 | 32 | 1,563 | 15 | 13 | 114 | 50 | 354 | 149 | 58 | 53 | 35 | 8 | |
| 率 | — | 0.1 | 0.8 | 0.3 | 13.8 | 0.1 | 0.1 | 1.0 | 0.4 | 3.1 | 1.3 | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.07 | | |
| 高 等 学 校 | 15才 | 3,633 | 2 | 16 | 10 | 1,000 | 5 | 36 | 8 | 11 | 92 | 95 | 18 | 46 | 6 | 26 | |
| | 16 | 3,307 | 4 | 16 | 5 | 923 | 4 | 29 | 5 | 4 | 57 | 74 | 12 | 35 | 13 | 25 | |
| | 17 | 3,260 | 3 | 3 | 2 | 876 | 6 | 35 | 9 | 6 | 38 | 52 | 9 | 48 | 11 | 23 | |
| | 18 | 260 | — | — | — | 64 | 1 | 4 | — | — | 2 | 4 | 1 | — | 2 | 1 | |
| | 19 | 15 | — | — | — | 6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 20以上 | 11 | — | — | 1 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 計 | 10,486 | 9 | 35 | 18 | 2,870 | 16 | 104 | 22 | 21 | 189 | 225 | 40 | 129 | 32 | 75 | |
| 率 | — | 0.09 | 0.3 | 0.2 | 27.6 | 0.2 | 1.0 | 0.2 | 0.2 | 1.8 | 2.2 | 0.4 | 1.6 | 0.4 | 1.0 | | |

| 鼻及び咽頭 | | | | 伝皮染膚性疾患の患 | 心臓の疾患 | 身体虚弱 | 運障動機能害 | そ患の及他び異常の疾常 | 歯 | | | 備考 |
|-------|-------|-------|-----------|-----------|-------|------|--------|-------------|--------|--------|-------|---|
| 蓄膿症 | アイデノド | 扁桃腺大 | その頭疾の鼻咽の患 | | | | | | むし歯の処置 | 完了者 | 未処の者 | |
| — | 1 | 4 | — | — | — | — | — | — | 1 | 59 | 1 | 本表の率は、各項目ごとに該当者数をその対応する受検者数で除し百分率で表したものである。 |
| — | 5 | 26 | 1 | 5 | — | — | — | — | 23 | 372 | — | |
| 2 | 14 | 182 | 14 | 36 | 4 | 5 | 1 | 3 | 36 | 2,142 | 1 | |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 2 | 20 | 212 | 15 | 41 | 4 | 5 | 1 | 3 | 60 | 2,573 | 2 | |
| 0.07 | 0.7 | 7.2 | 0.5 | 1.4 | 0.1 | 0.2 | 0.03 | 0.1 | 2.1 | 88.6 | 0.07 | |
| 11 | 2 | 242 | 35 | 49 | 5 | 1 | 6 | 18 | 36 | 1,777 | 20 | |
| 13 | 8 | 232 | 53 | 89 | 10 | 3 | 4 | 24 | 56 | 1,857 | 26 | |
| 22 | 3 | 258 | 42 | 114 | 9 | 7 | 4 | 16 | 124 | 1,966 | 39 | |
| 30 | 5 | 288 | 45 | 113 | 10 | 4 | 3 | 21 | 148 | 2,033 | 46 | |
| 24 | — | 254 | 48 | 87 | 8 | 1 | 1 | 8 | 147 | 1,898 | 52 | |
| 27 | — | 314 | 48 | 79 | 8 | 2 | 7 | 16 | 179 | 1,973 | 51 | |
| — | — | 1 | — | — | — | — | — | — | — | 5 | 1 | |
| 127 | 18 | 1,589 | 271 | 531 | 50 | 18 | 25 | 103 | 690 | 11,509 | 235 | |
| 0.8 | 0.1 | 10.5 | 1.8 | 3.5 | 0.3 | 0.1 | 0.2 | 0.7 | 0.5 | 76.9 | 1.6 | |
| 19 | — | 434 | 25 | 42 | 11 | 3 | 5 | 26 | 329 | 3,038 | 246 | |
| 12 | 1 | 294 | 32 | 26 | 8 | 2 | 10 | 7 | 186 | 2,073 | 205 | |
| 34 | — | 239 | 16 | 29 | 12 | 1 | 3 | 19 | 311 | 2,502 | 266 | |
| 1 | — | — | — | — | — | 1 | 2 | — | 2 | 25 | 2 | |
| 66 | 1 | 967 | 73 | 97 | 31 | 7 | 20 | 52 | 828 | 7,638 | 719 | |
| 0.6 | 0.01 | 8.6 | 0.7 | 0.8 | 0.3 | 0.06 | 0.2 | 0.5 | 7.2 | 66.2 | 6.2 | |
| 51 | — | 210 | 64 | — | 27 | 3 | 3 | 20 | 318 | 2,411 | 309 | |
| 43 | — | 109 | 44 | 2 | 15 | 1 | 2 | 15 | 348 | 2,048 | 295 | |
| 33 | — | 156 | 62 | — | 13 | 3 | 3 | 12 | 397 | 2,038 | 483 | |
| 4 | — | 15 | 7 | — | 4 | — | 1 | 2 | 37 | 109 | 25 | |
| — | — | 1 | — | — | — | — | — | — | 2 | 12 | 3 | |
| — | — | — | — | — | 1 | — | — | — | 2 | 5 | 1 | |
| 131 | — | 491 | 177 | 2 | 60 | 7 | 9 | 49 | 1,104 | 6,623 | 1,116 | |
| 1.5 | — | 5.0 | 1.8 | 0.02 | 0.6 | 0.07 | 0.09 | 0.5 | 10.6 | 63.6 | 10.7 | |

毎月人口世帯異動調査結果

(昭和34年10月分)

人口統計係

1. 世帯異動状況

| | 前月末 | 増 | | | | 加 | | | | 減 | | | | 本月末 |
|---------|---------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|---------|--|--|--|-----|
| | | 転入 | | その他 | 計 | 転出 | | その他 | 計 | | | | | |
| | | 県外から | 県内から | | | 県外へ | 県内へ | | | | | | | |
| 世帯数 | 393,058 | 262 | 456 | 142 | 860 | 254 | 363 | 33 | 650 | 393,268 | | | | |
| 前月との増減比 | — | 97.7 | 91.4 | 165.1 | 100.3 | 99.6 | 101.9 | 122.2 | 100.0 | 100.05 | | | | |

2. 人口異動状況

| | 前月末 | 増 | | | | 加 | | | | 減 | | | | 本月末 |
|---------|-----------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|--|-----|
| | | 出生 | 転入 | | その他 | 計 | 死亡 | 転出 | | その他 | 計 | | | |
| | | | 県外から | 県内から | | | | 県外へ | 県内へ | | | | | |
| 計 | 2,078,093 | 2,575 | 2,773 | 3,401 | 160 | 8,909 | 1,261 | 3,484 | 3,634 | 129 | 8,508 | 2,078,494 | | |
| 男 | 104,620 | 1,356 | 1,616 | 1,709 | 136 | 4,817 | 670 | 1,846 | 1,830 | 73 | 4,419 | 1,012,018 | | |
| 女 | 1,066,473 | 1,219 | 1,157 | 1,692 | 24 | 4,092 | 591 | 1,638 | 1,804 | 56 | 4,089 | 1,066,476 | | |
| 前月との増減比 | — | 99.9 | 104.7 | 83.9 | 85.1 | 93.0 | 115.4 | 96.6 | 90.2 | 151.7 | 96.6 | 100.01 | | |

前月=100

3. 県外からの転入者内訳

| 従前の居住地 | 転入者数 | 割合 |
|--------|-------|--------|
| 合計 | 2,773 | 100.0% |
| 東京都 | 1,293 | 46.6 |
| 埼玉県 | 120 | 4.3 |
| 神奈川県 | 160 | 5.8 |
| 千葉県 | 126 | 4.6 |
| 栃木県 | 140 | 5.1 |
| 群馬県 | 31 | 1.1 |
| 福島県 | 331 | 11.9 |
| その他の府県 | 572 | 20.6 |

4. 県外転出者内訳

| 転出先の居住地 | 転出者数 | 割合 |
|---------|-------|--------|
| 合計 | 3,484 | 100.0% |
| 東京都 | 2,057 | 59.0 |
| 埼玉県 | 166 | 4.8 |
| 神奈川県 | 300 | 8.6 |
| 千葉県 | 247 | 7.1 |
| 栃木県 | 112 | 3.2 |
| 群馬県 | 19 | 0.5 |
| 福島県 | 142 | 4.1 |
| その他の府県 | 441 | 12.7 |

5. 市町村別世帯数および人口（月末現在）

| 市町村名 | 世帯数 | 人 | | | 市町村名 | 世帯数 | 人 | | |
|------|---------|---------|---------|---------|------|--------|--------|--------|--------|
| | | 計 | 男 | 女 | | | 計 | 男 | 女 |
| 市計 | 177,427 | 872,970 | 426,915 | 446,055 | 竜ヶ崎市 | 6,658 | 34,005 | 16,433 | 17,572 |
| 水戸市 | 29,092 | 134,718 | 65,019 | 69,699 | 那珂湊市 | 6,927 | 34,088 | 16,044 | 18,044 |
| 日立市 | 31,342 | 150,433 | 76,435 | 73,998 | 下妻市 | 5,583 | 31,355 | 15,017 | 16,338 |
| 土浦市 | 16,136 | 72,108 | 34,912 | 37,196 | 水海道市 | 7,309 | 38,914 | 18,726 | 20,188 |
| 古河市 | 9,099 | 41,748 | 19,840 | 21,908 | 常陸市 | 7,702 | 38,819 | 18,864 | 19,955 |
| 石岡市 | 7,314 | 36,678 | 17,582 | 19,096 | 勝田市 | 7,855 | 38,979 | 19,327 | 19,652 |
| 下館市 | 9,638 | 52,250 | 25,324 | 26,926 | 高萩市 | 6,994 | 33,105 | 16,461 | 16,644 |
| 結城市 | 6,991 | 39,052 | 18,770 | 20,282 | 北茨城市 | 12,471 | 63,421 | 32,152 | 31,269 |
| | | | | | 笠間市 | 6,316 | 33,297 | 16,009 | 17,288 |

| 市町村名 | 世帯数 | 人 | | | 市町村名 | 世帯数 | 人 | | |
|-------------|---------|-----------|---------|---------|-------------|--------|---------|--------|--------|
| | | 計 | 男 | 女 | | | 計 | 男 | 女 |
| 郡 計 | 215,841 | 1,205,524 | 585,103 | 620,421 | 稲敷郡 | 21,083 | 114,247 | 55,465 | 58,782 |
| 東茨城郡 | 25,706 | 138,672 | 67,210 | 71,462 | 江戸村 | 2,524 | 13,362 | 6,394 | 6,968 |
| 常澄村 | 1,729 | 10,321 | 5,060 | 5,261 | 美浦町 | 1,713 | 9,558 | 4,599 | 4,959 |
| 茨城町 | 5,525 | 31,519 | 15,432 | 16,087 | 阿見町 | 4,310 | 21,697 | 10,739 | 10,958 |
| 小川町 | 2,946 | 16,354 | 7,874 | 8,480 | 牛久崎村 | 3,083 | 16,180 | 7,986 | 8,194 |
| 美野里町 | 2,698 | 15,081 | 7,366 | 7,715 | 新利根村 | 1,084 | 6,513 | 3,236 | 3,277 |
| 内原村 | 2,268 | 13,406 | 6,792 | 6,614 | 河内川村 | 1,812 | 9,786 | 4,697 | 5,089 |
| 常北町 | 2,381 | 12,367 | 5,992 | 6,375 | 東村 | 2,373 | 13,679 | 6,645 | 7,034 |
| 御前山村 | 1,847 | 9,491 | 4,562 | 4,929 | | 1,672 | 9,173 | 4,312 | 4,861 |
| 大洗町 | 1,457 | 7,732 | 3,661 | 4,071 | | 2,512 | 14,299 | 6,857 | 7,442 |
| | 4,855 | 22,401 | 10,471 | 11,930 | 新治郡 | 15,728 | 87,309 | 42,787 | 44,522 |
| 西茨城郡 | 11,065 | 62,040 | 30,131 | 31,909 | 出島村 | 3,495 | 19,132 | 9,423 | 9,709 |
| 友部町 | 3,488 | 19,378 | 9,572 | 9,806 | 玉里村 | 976 | 5,317 | 2,622 | 2,695 |
| 岩間町 | 2,483 | 14,429 | 6,948 | 7,481 | 八千代村 | 5,699 | 32,519 | 15,839 | 16,680 |
| 七瀬町 | 731 | 4,235 | 2,050 | 2,185 | 新治村 | 2,091 | 12,022 | 5,909 | 6,113 |
| | 4,363 | 23,998 | 11,561 | 12,437 | 新桜村 | 1,643 | 8,917 | 4,399 | 4,518 |
| | | | | | | 1,824 | 9,402 | 4,595 | 4,807 |
| 那珂郡 | 19,932 | 107,907 | 52,918 | 54,989 | 筑波郡 | 17,167 | 94,345 | 45,948 | 48,397 |
| 東海村 | 2,121 | 12,860 | 6,535 | 6,325 | 谷田部町 | 3,980 | 21,490 | 10,624 | 10,866 |
| 那珂町 | 5,877 | 31,221 | 15,320 | 15,901 | 伊奈村 | 2,117 | 12,346 | 5,969 | 6,377 |
| 瓜連町 | 1,410 | 7,154 | 3,477 | 3,677 | 谷和原町 | 1,994 | 11,293 | 5,407 | 5,886 |
| 大宮町 | 4,879 | 25,584 | 12,429 | 13,155 | 豊里町 | 2,158 | 11,833 | 5,842 | 5,991 |
| 山方町 | 2,557 | 13,706 | 6,690 | 7,016 | 筑波町 | 4,722 | 25,311 | 12,256 | 13,055 |
| 美和村 | 1,530 | 8,870 | 4,329 | 4,541 | 大穂町 | 2,196 | 12,072 | 5,850 | 6,222 |
| 緒川村 | 1,558 | 8,512 | 4,138 | 4,374 | 真壁郡 | 13,822 | 80,048 | 38,716 | 41,332 |
| 久慈郡 | 14,298 | 77,851 | 37,583 | 40,268 | 関城町 | 2,626 | 15,477 | 7,529 | 7,948 |
| 金砂村 | 2,789 | 15,452 | 7,405 | 8,047 | 明野町 | 3,072 | 18,229 | 8,843 | 9,386 |
| 水府村 | 2,312 | 12,123 | 5,854 | 6,269 | 真壁村 | 4,188 | 22,905 | 10,917 | 11,988 |
| 里美村 | 1,434 | 8,115 | 3,889 | 4,226 | 大協村 | 1,409 | 8,529 | 4,133 | 4,396 |
| 大子町 | 7,763 | 42,161 | 20,435 | 21,726 | 和和村 | 2,527 | 14,908 | 7,294 | 7,614 |
| 多賀郡 | 2,349 | 11,275 | 5,567 | 5,708 | 結城郡 | 9,365 | 55,172 | 26,742 | 28,430 |
| 十王町 | 2,349 | 11,275 | 5,567 | 5,708 | 八千代村 | 4,236 | 25,780 | 12,571 | 13,209 |
| | | | | | 千代川村 | 1,601 | 8,973 | 4,353 | 4,620 |
| | | | | | 石下町 | 3,528 | 20,419 | 9,818 | 10,601 |
| 鹿島郡 | 20,919 | 121,571 | 58,798 | 62,773 | 猿島郡 | 20,613 | 124,674 | 60,274 | 64,400 |
| 旭村 | 1,983 | 11,999 | 5,825 | 6,174 | 総和村 | 3,349 | 20,508 | 9,972 | 10,536 |
| 銚田町 | 5,287 | 29,477 | 14,298 | 15,179 | 五霞村 | 1,499 | 9,658 | 4,732 | 4,926 |
| 大野村 | 1,864 | 10,913 | 5,255 | 5,658 | 三猿村 | 3,266 | 20,486 | 9,848 | 10,638 |
| 大野村 | 1,808 | 11,165 | 5,401 | 5,764 | 二猿村 | 2,520 | 15,667 | 7,570 | 8,097 |
| 鹿野村 | 2,794 | 16,297 | 7,835 | 8,462 | 猿井町 | 5,912 | 34,823 | 16,935 | 17,888 |
| 神栖町 | 2,861 | 16,812 | 8,052 | 8,760 | 境町 | 4,067 | 23,532 | 11,217 | 12,315 |
| 波崎町 | 4,322 | 24,908 | 12,132 | 12,776 | 北相馬郡 | 10,801 | 56,304 | 27,326 | 28,978 |
| 行方郡 | 12,993 | 74,109 | 35,638 | 38,471 | 守谷町 | 2,155 | 11,850 | 5,756 | 6,094 |
| 麻生町 | 3,604 | 21,027 | 10,195 | 10,832 | 取藤村 | 4,566 | 22,102 | 10,810 | 11,292 |
| 牛堀町 | 1,219 | 7,052 | 3,401 | 3,651 | 利根町 | 2,329 | 12,735 | 6,117 | 6,618 |
| 潮来町 | 3,153 | 17,714 | 8,373 | 9,341 | | 1,751 | 9,617 | 4,643 | 4,974 |
| 北浦村 | 2,177 | 12,849 | 6,166 | 6,683 | | | | | |
| 玉造町 | 2,840 | 15,467 | 7,503 | 7,964 | | | | | |

毎月勤労統計調査結果速報

(昭和34年9月分)

労働省大臣官房労働統計調査部

茨 城 県

— 結 果 の 概 況 —

労 働 統 計 係

1. 現金給与総額の減少

9月の調査産業総数労働者1人当りの現金給与総額は17,593円で前月に比べて858円の減少であるが、この減少は特別に支払われた給与1,126円の夏期手当の打切り減少の主因である。なおきまつて支給する給与については前月に比し総額において268円の増加を示していることは経済好調の主因でもある。

これを産業別に見ると下記のとおりである。

| 産 業 別 | 現金給与額 | 対前月差 |
|----------------------|---------------------|--------------------|
| 総 数 | 17,593 ^円 | - 858 ^円 |
| D 鉱 業 | 18,745 | + 8,363 |
| E 建 設 業 | 13,317 | + 531 |
| F 製 造 業 | 16,516 | - 381 |
| 18 食 料 品 製 造 業 | 12,082 | - 1,263 |
| 33 金 属 製 造 業 | 12,887 | - 512 |
| 34 機 械 製 造 業 | 12,286 | + 389 |
| 35 電 気 機 械 器 具 製 造 業 | 18,048 | - 446 |
| G 卸 売 及 び 小 売 業 | 14,942 | + 1,679 |
| H 金 融 及 び 保 険 業 | 33,467 | -13,641 |
| J 運 輸 通 信 業 | 19,085 | - 329 |
| K 電 気 ガ ス 水 道 業 | 28,924 | - 826 |
| L 医 療 保 健 業 | 18,129 | - 28 |

2. 出勤日数および実労働時間の推移

本月の産業別出勤日数は24.4日で前月に比べ0.2日の増加に伴い実労働時間数においても2.9時間の増加で所定内も0.2時間、所定外0.9時間各増加の傾向を示していることは経済好調に伴う生産増強および取引の向上に主因するものである。

3. 常用労働者の推移

常用労働者については前月82,351人に比し、本月は83,568人、1,217人の増加を示していることは各産業別の就労増加の主因であることが予想される。

第1表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

| 産 業 別 | 現金給与総額 | | | きまつて支給する給与 | | | 特別に支払われ た 給 与 | | | 臨時及び日雇 労働者の1人 平均現金給与 額 |
|------------------------------|--------|--------|--------|------------|--------|--------|------------------|--------|-------|---------------------------------|
| | 総 額 | 男 子 | 女 子 | 総 額 | 男 子 | 女 子 | 総 額 | 男 子 | 女 子 | |
| 全 常 用 勞 働 者 | | | | | | | | | | |
| 總 数 | 17,593 | 19,743 | 8,549 | 16,924 | 19,014 | 8,132 | 669 | 729 | 417 | 327 |
| D 鉱 業 | 18,745 | 19,634 | 7,678 | 17,508 | 18,321 | 7,390 | 1,237 | 1,313 | 288 | 375 |
| E 建 設 業 | 13,317 | 14,177 | 7,347 | 13,317 | 14,177 | 7,347 | — | — | — | 356 |
| F 製 造 業 | 16,516 | 19,006 | 7,648 | 16,487 | 18,971 | 297 | 35 | 10 | — | 262 |
| 18 食 料 品 | 12,082 | 16,409 | 5,477 | 12,082 | 16,409 | 5,477 | — | — | — | 288 |
| 20 織 維 工 業 | 8,005 | 15,893 | 5,939 | 8,005 | 15,893 | 5,939 | — | — | — | 296 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 15,246 | 19,334 | 7,648 | 14,236 | 17,935 | 7,362 | 1,010 | 1,399 | 286 | 292 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 | 19,472 | 21,088 | 8,690 | 19,470 | 21,086 | 8,690 | 2 | 2 | — | 275 |
| 32 非 鉄 金 属 製 品 | 18,375 | 19,831 | 8,457 | 18,375 | 19,831 | 8,457 | — | — | — | — |
| 33 金 属 製 品 | 12,887 | 14,056 | 7,651 | 12,887 | 14,056 | 7,651 | — | — | — | — |
| 34 機 械 製 造 業 | 12,286 | 14,056 | 6,885 | 12,286 | 14,056 | 6,885 | — | — | — | — |
| 35 電 気 機 器 具 製 造 業 | 18,048 | 20,151 | 8,244 | 18,046 | 20,149 | 8,244 | 2 | 2 | 0 | 237 |
| 19.38.39 そ の 他 の 製 造 業 | 13,849 | 17,519 | 9,750 | 13,849 | 17,519 | 9,750 | — | — | — | 330 |
| G 卸 売 及 び 小 売 業 | 14,942 | 18,028 | 7,350 | 13,264 | 15,802 | 7,019 | 1,678 | 2,226 | 331 | 271 |
| H 金 融 及 び 保 険 業 | 33,467 | 41,910 | 18,643 | 20,898 | 25,826 | 12,246 | 12,569 | 16,084 | 6,397 | — |
| J 運 輸 通 信 | 19,085 | 20,570 | 10,523 | 18,873 | 20,359 | 10,311 | 212 | 211 | 212 | 302 |
| K 電 気 ガ ス 水 道 | 28,928 | 30,007 | 17,413 | 28,928 | 30,007 | 17,413 | — | — | — | 571 |
| L 医 療 保 健 業 | 18,129 | 24,896 | 13,487 | 17,957 | 24,764 | 13,288 | 172 | 132 | 199 | 270 |
| 生 産 勞 働 者 | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 18,443 | 19,051 | 7,294 | 17,490 | 18,069 | 6,881 | 953 | 982 | 413 | — |
| E 建 設 業 | 11,582 | 12,420 | 6,546 | 11,582 | 12,420 | 6,546 | — | — | — | — |
| F 製 造 業 | 13,850 | 15,892 | 7,096 | 13,824 | 15,859 | 7,091 | 26 | 33 | 5 | — |
| 18 食 料 品 | 10,475 | 14,425 | 5,124 | 10,475 | 14,425 | 5,124 | — | — | — | — |
| 20 織 維 工 業 | 6,477 | 11,434 | 5,791 | 6,477 | 11,434 | 5,791 | — | — | — | — |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 12,542 | 16,264 | 7,088 | 11,518 | 14,633 | 6,953 | 1,024 | 1,631 | 135 | — |
| 30 窯 業 土 石 製 品 | 18,541 | 19,908 | 7,801 | 18,539 | 19,906 | 7,921 | 2 | 2 | — | — |
| 32 非 鉄 金 属 製 品 | 15,818 | 16,766 | 7,921 | 15,818 | 16,766 | 7,921 | — | — | — | — |
| 33 金 属 製 品 | 12,013 | 12,928 | 7,193 | 12,013 | 12,928 | 7,193 | — | — | — | — |
| 34 機 械 製 造 業 | 10,894 | 12,244 | 6,615 | 10,894 | 12,244 | 6,615 | — | — | — | — |
| 35 電 気 機 器 具 製 造 業 | 14,955 | 16,591 | 7,596 | 14,953 | 16,589 | 7,596 | 2 | 2 | — | — |
| 19.38.39 そ の 他 の 製 造 業 | 12,035 | 14,993 | 9,416 | 12,035 | 14,993 | 9,416 | — | — | — | — |
| 管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者 | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 20,454 | 23,551 | 8,232 | 17,610 | 20,013 | 8,126 | 2,844 | 3,538 | 106 | 375 |
| E 建 設 業 | 16,969 | 17,664 | 10,000 | 16,969 | 17,664 | 10,000 | — | — | — | 356 |
| F 製 造 業 | 23,251 | 26,434 | 9,383 | 23,214 | 26,395 | 9,358 | 37 | 39 | 25 | 262 |
| 18 食 料 品 | 18,651 | 22,868 | 7,680 | 18,651 | 22,868 | 7,680 | — | — | — | 288 |
| 20 織 維 工 業 | 15,441 | 20,113 | 7,632 | 15,441 | 20,113 | 7,632 | — | — | — | 296 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 21,816 | 24,978 | 10,223 | 20,841 | 24,004 | 9,245 | 975 | 974 | 978 | 292 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 | 23,064 | 26,122 | 10,653 | 23,064 | 26,122 | 10,653 | — | — | — | 275 |
| 32 非 鉄 金 属 製 品 | 23,817 | 26,864 | 9,167 | 23,817 | 26,864 | 9,167 | — | — | — | — |
| 33 金 属 製 品 | 20,877 | 28,279 | 9,356 | 20,877 | 28,279 | 9,356 | — | — | — | — |
| 34 機 械 製 造 業 | 17,932 | 21,762 | 7,841 | 17,932 | 21,762 | 7,841 | — | — | — | — |
| 35 電 気 機 器 具 製 造 業 | 24,123 | 27,013 | 9,636 | 24,123 | 27,013 | 9,636 | — | — | — | 237 |
| 19.38.39 そ の 他 の 製 造 業 | 19,801 | 22,938 | 11,813 | 19,801 | 22,938 | 11,813 | — | — | — | 330 |

第2表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間実労働時間数及び出勤日数
(規模30人以上) (単位時間、日)

| 産 業 名 | 総実労働時間数 | | | 所定内労働時間数 | | | 所定外労働時間数 | | | 出 勤 日 数 | | |
|------------------------------|---------|-------|-------|----------|-------|-------|----------|------|------|---------|------|------|
| | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 |
| 全 常 用 勞 働 者 | | | | | | | | | | | | |
| 総 数 | 206.3 | 209.1 | 194.2 | 183.0 | 182.6 | 184.5 | 23.3 | 26.5 | 9.7 | 24.4 | 24.4 | 24.4 |
| D 鉱 業 | 191.4 | 192.3 | 180.1 | 172.5 | 172.7 | 170.0 | 18.9 | 19.6 | 10.1 | 23.4 | 23.4 | 24.0 |
| E 建 設 業 | 190.5 | 191.7 | 182.4 | 177.2 | 178.0 | 171.4 | 13.3 | 13.7 | 11.0 | 23.5 | 23.5 | 23.3 |
| F 製 造 業 | 215.5 | 221.2 | 195.5 | 185.8 | 186.0 | 185.3 | 29.7 | 35.2 | 10.2 | 24.6 | 24.8 | 24.2 |
| 18 食 料 品 業 | 212.9 | 222.7 | 197.9 | 191.3 | 190.1 | 193.1 | 21.6 | 32.6 | 4.8 | 24.8 | 25.1 | 24.4 |
| 20 織 維 工 業 | 195.6 | 214.3 | 190.7 | 191.3 | 202.2 | 188.4 | 4.3 | 12.1 | 2.3 | 23.9 | 25.4 | 23.6 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 工 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 211.7 | 221.9 | 192.9 | 189.7 | 192.5 | 184.6 | 22.0 | 29.4 | 8.3 | 25.0 | 25.2 | 24.6 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 業 | 208.7 | 210.0 | 200.2 | 181.5 | 180.5 | 188.0 | 27.2 | 29.5 | 12.2 | 24.0 | 23.9 | 24.8 |
| 32 非 鉄 金 属 製 品 業 | 207.7 | 209.9 | 193.1 | 177.9 | 177.6 | 180.1 | 29.8 | 32.3 | 13.0 | 24.5 | 24.5 | 24.4 |
| 33 金 属 製 品 業 | 230.9 | 230.9 | 230.7 | 188.1 | 188.4 | 186.8 | 42.8 | 42.5 | 43.9 | 24.4 | 24.5 | 23.9 |
| 34 機 械 製 造 業 | 223.6 | 226.7 | 213.9 | 196.0 | 193.0 | 205.0 | 27.6 | 33.7 | 8.9 | 25.2 | 24.7 | 26.5 |
| 35 電 機 機 械 器 具 製 造 業 | 182.6 | 223.8 | 194.5 | 184.5 | 185.3 | 181.2 | 34.1 | 38.5 | 13.3 | 24.6 | 24.7 | 24.2 |
| 19.38.39 そ の 他 | 192.2 | 205.4 | 177.5 | 180.7 | 189.3 | 171.0 | 11.5 | 16.1 | 6.5 | 23.4 | 24.3 | 22.3 |
| G 卸 売 及 び 小 売 業 | 198.7 | 192.6 | 213.4 | 190.5 | 183.3 | 208.1 | 8.2 | 9.3 | 5.3 | 26.2 | 26.0 | 26.8 |
| H 金 融 保 險 業 | 189.2 | 185.8 | 195.4 | 177.3 | 173.6 | 183.8 | 11.9 | 12.2 | 11.6 | 25.2 | 25.0 | 25.6 |
| J 運 輸 通 信 業 | 194.6 | 196.9 | 181.5 | 183.9 | 185.8 | 173.0 | 10.7 | 11.1 | 8.5 | 23.7 | 23.8 | 23.1 |
| K 電 気 ガ ス 、 水 道 業 | 183.7 | 186.3 | 156.1 | 165.0 | 166.2 | 152.7 | 18.7 | 20.1 | 3.4 | 24.3 | 24.4 | 22.5 |
| L 医 療 保 健 業 | 200.5 | 203.9 | 198.1 | 190.8 | 192.5 | 189.7 | 9.6 | 11.4 | 8.4 | 24.6 | 24.7 | 24.4 |
| 生 産 勞 働 者 | | | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 190.5 | 161.1 | 179.5 | 171.2 | 171.4 | 166.9 | 19.3 | 19.7 | 12.6 | 23.1 | 23.1 | 23.1 |
| E 建 設 業 | 186.5 | 187.7 | 179.4 | 174.2 | 175.2 | 168.4 | 12.3 | 12.5 | 11.0 | 22.9 | 22.8 | 23.0 |
| F 製 造 業 | 215.3 | 221.7 | 194.0 | 185.1 | 185.3 | 184.5 | 30.2 | 36.4 | 9.5 | 24.5 | 24.6 | 24.0 |
| 18 食 料 品 業 | 212.1 | 223.8 | 196.4 | 189.9 | 188.2 | 192.3 | 22.2 | 35.6 | 4.1 | 24.6 | 24.9 | 24.2 |
| 20 織 維 工 業 | 192.9 | 214.0 | 189.9 | 189.4 | 202.0 | 187.6 | 3.5 | 12.0 | 2.3 | 23.7 | 25.4 | 23.5 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 工 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 213.2 | 227.4 | 192.5 | 190.0 | 193.6 | 184.9 | 23.2 | 33.8 | 7.6 | 24.9 | 25.0 | 24.7 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 業 | 211.8 | 212.9 | 202.4 | 181.8 | 181.0 | 187.7 | 30.0 | 31.9 | 14.7 | 24.0 | 23.9 | 24.6 |
| 32 非 鉄 金 属 製 品 業 | 210.4 | 212.4 | 193.5 | 176.8 | 176.4 | 180.5 | 33.6 | 36.0 | 13.0 | 24.3 | 24.3 | 24.2 |
| 33 金 属 製 品 業 | 230.4 | 229.8 | 233.7 | 187.0 | 186.8 | 188.0 | 43.4 | 43.0 | 45.7 | 24.2 | 24.3 | 24.1 |
| 34 機 械 製 造 業 | 223.3 | 225.7 | 215.3 | 194.7 | 191.1 | 205.9 | 28.6 | 34.6 | 9.4 | 25.1 | 24.6 | 26.7 |
| 35 電 機 機 械 器 具 製 造 業 | 217.4 | 223.0 | 191.8 | 183.6 | 184.5 | 179.2 | 33.8 | 38.5 | 12.6 | 24.4 | 24.5 | 23.9 |
| 19.38.39 そ の 他 | 192.4 | 212.6 | 174.4 | 178.9 | 191.6 | 167.6 | 13.5 | 21.0 | 6.8 | 23.0 | 24.3 | 21.9 |
| 管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者 | | | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 196.3 | 200.1 | 181.0 | 179.9 | 181.2 | 174.4 | 16.4 | 18.9 | 6.6 | 25.4 | 25.4 | 25.4 |
| E 建 設 業 | 199.1 | 199.8 | 192.4 | 183.6 | 183.8 | 181.4 | 15.5 | 16.0 | 11.0 | 24.8 | 24.9 | 24.5 |
| F 製 造 業 | 216.1 | 219.8 | 200.1 | 187.7 | 187.7 | 188.0 | 28.4 | 32.1 | 12.1 | 25.0 | 25.1 | 24.8 |
| 18 食 料 品 業 | 216.2 | 219.4 | 207.5 | 196.9 | 196.3 | 198.2 | 19.3 | 23.1 | 9.3 | 25.8 | 25.9 | 25.7 |
| 20 織 維 工 業 | 209.0 | 214.6 | 199.7 | 200.5 | 202.4 | 197.2 | 8.5 | 12.2 | 2.5 | 25.1 | 25.3 | 24.6 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 工 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 208.0 | 211.7 | 194.6 | 188.8 | 190.4 | 183.0 | 19.2 | 21.3 | 11.6 | 25.2 | 25.5 | 24.1 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 業 | 196.7 | 197.1 | 195.1 | 180.1 | 178.0 | 188.6 | 16.6 | 19.1 | 6.5 | 24.3 | 24.0 | 25.2 |
| 32 非 鉄 金 属 製 品 業 | 201.9 | 203.8 | 192.5 | 180.1 | 180.2 | 179.6 | 21.8 | 23.6 | 12.9 | 24.8 | 24.8 | 24.6 |
| 33 金 属 製 品 業 | 235.1 | 244.9 | 219.8 | 197.8 | 207.8 | 182.3 | 37.3 | 37.1 | 37.5 | 25.5 | 26.8 | 23.4 |
| 34 機 械 製 造 業 | 224.8 | 230.9 | 208.9 | 201.3 | 201.3 | 201.4 | 23.5 | 29.6 | 7.5 | 25.3 | 25.2 | 25.5 |
| 35 電 機 機 械 器 具 製 造 業 | 221.1 | 225.2 | 202.2 | 186.5 | 186.7 | 185.4 | 34.6 | 38.5 | 14.8 | 24.9 | 24.9 | 24.7 |
| 19.38.39 そ の 他 | 191.8 | 188.8 | 196.9 | 186.6 | 184.4 | 192.3 | 5.2 | 5.4 | 4.6 | 24.4 | 24.2 | 24.8 |

第3表 産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の年月推計延人員（規模30人以上）（単位人）

| 前月末労働者数 | | | 本月中の増加 | | | 本月中の減少 | | | 本月末労働者数 | | | 臨時及び日雇労働者の 月間推計延 人員 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-----|--------|-------|-----|---------|--------|--------|---------------------------|
| 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | |
| 82,352 | 66,645 | 15,707 | 2,762 | 1,912 | 850 | 1,546 | 1,143 | 403 | 83,568 | 67,414 | 16,154 | 53,278 |
| 11,600 | 10,727 | 873 | 123 | 115 | 8 | 307 | 264 | 43 | 11,416 | 10,578 | 838 | 8,904 |
| 3,878 | 3,376 | 502 | 194 | 175 | 19 | 74 | 43 | 31 | 3,998 | 3,508 | 490 | 22,739 |
| 48,706 | 38,124 | 10,582 | 2,264 | 1,527 | 737 | 991 | 725 | 266 | 49,979 | 38,926 | 11,053 | 13,643 |
| 2,342 | 1,419 | 923 | 40 | 20 | 20 | 32 | 23 | 9 | 2,350 | 1,416 | 934 | 1,944 |
| 1,580 | 324 | 1,256 | 38 | 9 | 29 | 47 | 3 | 44 | 1,571 | 330 | 1,241 | 2,028 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 1,072 | 688 | 384 | 36 | 35 | 1 | 19 | 6 | 13 | 1,089 | 717 | 372 | 634 |
| 1,831 | 1,600 | 231 | 55 | 30 | 25 | 27 | 21 | 6 | 1,859 | 1,609 | 250 | 847 |
| 4,838 | 4,222 | 616 | 140 | 111 | 29 | 42 | 32 | 10 | 4,936 | 4,301 | 635 | — |
| 1,469 | 1,197 | 272 | 108 | 81 | 27 | 65 | 38 | 27 | 1,512 | 1,240 | 272 | — |
| 3,720 | 2,831 | 889 | 392 | 252 | 140 | 223 | 183 | 40 | 3,889 | 2,900 | 989 | — |
| 23,876 | 19,739 | 4,137 | 1,169 | 784 | 385 | 393 | 308 | 85 | 24,652 | 20,215 | 4,437 | 611 |
| 2,169 | 1,158 | 1,011 | 95 | 33 | 62 | 46 | 34 | 12 | 2,218 | 1,157 | 1,061 | 215 |
| 4,635 | 3,293 | 1,342 | 44 | 27 | 17 | 62 | 35 | 27 | 4,617 | 3,285 | 1,332 | 995 |
| 2,377 | 1,516 | 861 | 44 | 23 | 21 | 22 | 12 | 10 | 2,399 | 1,527 | 872 | — |
| 9,683 | 8,262 | 1,421 | 93 | 45 | 48 | 85 | 59 | 26 | 9,691 | 8,248 | 1,443 | 6,948 |
| 1,473 | 1,347 | 126 | — | — | — | 5 | 5 | — | 1,468 | 1,342 | 126 | 49 |
| 3,493 | 1,419 | 2,074 | 24 | 8 | 16 | 28 | 5 | 23 | 3,489 | 1,422 | 2,067 | 1,102 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 9,852 | 9,334 | 518 | 111 | 108 | 3 | 257 | 230 | 27 | 9,706 | 9,212 | 494 | — |
| 2,612 | 2,225 | 387 | 180 | 161 | 19 | 64 | 33 | 31 | 2,728 | 2,353 | 375 | — |
| 34,759 | 26,778 | 7,981 | 2,028 | 1,344 | 684 | 843 | 608 | 235 | 35,944 | 27,514 | 8,430 | — |
| 1,880 | 1,085 | 795 | 36 | 20 | 16 | 26 | 21 | 5 | 1,890 | 1,084 | 806 | — |
| 1,314 | 157 | 1,157 | 33 | 7 | 26 | 47 | 3 | 44 | 1,300 | 161 | 1,139 | — |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 755 | 441 | 314 | 31 | 30 | 1 | 10 | 2 | 8 | 776 | 469 | 307 | — |
| 1,446 | 1,290 | 156 | 52 | 28 | 24 | 13 | 8 | 5 | 1,485 | 1,310 | 175 | — |
| 3,275 | 2,928 | 347 | 130 | 102 | 28 | 31 | 22 | 9 | 3,374 | 3,008 | 366 | — |
| 1,322 | 1,110 | 212 | 103 | 76 | 27 | 60 | 38 | 22 | 1,365 | 1,148 | 217 | — |
| 2,969 | 2,285 | 684 | 385 | 250 | 135 | 219 | 180 | 39 | 3,135 | 2,355 | 780 | — |
| 15,733 | 12,946 | 2,787 | 998 | 649 | 349 | 303 | 231 | 72 | 16,428 | 13,364 | 3,064 | — |
| 1,657 | 790 | 867 | 94 | 33 | 61 | 46 | 34 | 12 | 1,705 | 789 | 916 | — |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 1,748 | 1,393 | 355 | 12 | 7 | 5 | 50 | 34 | 16 | 1,710 | 1,366 | 344 | 8,904 |
| 1,266 | 1,151 | 115 | 14 | 14 | — | 10 | 10 | — | 1,270 | 1,155 | 115 | 22,739 |
| 13,947 | 11,346 | 2,601 | 236 | 183 | 53 | 148 | 117 | 31 | 14,035 | 11,412 | 2,623 | 13,643 |
| 462 | 334 | 128 | 4 | — | 4 | 6 | 2 | 4 | 460 | 332 | 128 | 1,944 |
| 266 | 167 | 99 | 5 | 2 | 3 | — | — | — | 271 | 169 | 102 | 2,028 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 317 | 247 | 70 | 5 | 5 | — | 9 | 4 | 5 | 313 | 248 | 65 | 634 |
| 385 | 310 | 75 | 3 | 2 | 1 | 14 | 13 | 1 | 374 | 299 | 75 | 847 |
| 1,563 | 1,294 | 269 | 10 | 9 | 1 | 11 | 10 | 1 | 1,562 | 1,293 | 269 | — |
| 147 | 87 | 60 | 5 | 5 | — | 5 | — | 5 | 147 | 92 | 55 | — |
| 751 | 546 | 205 | 7 | 2 | 5 | 4 | 3 | 1 | 754 | 545 | 209 | — |
| 8,143 | 6,793 | 1,350 | 171 | 135 | 36 | 90 | 77 | 13 | 8,224 | 6,851 | 1,373 | 611 |
| 512 | 368 | 144 | 1 | — | 1 | — | — | — | 513 | 368 | 145 | 215 |

新市町村の横顔

猿島郡 三和村



山高村長

1. 沿革

本村は県の西部に位し、東は結城郡八千代村、西は総和村、南は境町、北は結城市に接している。東西13.51km、南北21.59kmと南北に長く、面積50.85km²、全地域が標高50m未満で畑地が多く、田3、畑7の割合で山林700ヘクタールがその間に点在する。

昭和30年2月11日、旧幸島村八俣村、名崎村が円満に対等合併し、三カ村が融和提携して新村を建設する意味において三和村と名付け、呼名を「みわ村」とした。村の中央を南北に東仁連川が流れ西端を南北に大川が流れる。交通路としては鉄道路線がないが、バス路線が発達し、古河土浦間を国鉄バス、古河下館間、境結城間、古河岩井間、栗橋下妻間を東武バスが走る。水戸線結城駅で下車し、境行のバスに乗ると約30分で大字諸川に着く。ここは商業的市街地を形成しており、現在役場庁舎がある。この庁舎は大正15年に建てられたそうで、当時大火があつたところから、石造り二階建のおよそ現代からは程遠いもので、訪れた日が台風16号の余波で豪雨の日であつたせいもあるが、庁舎に入ると薄暗い石倉に入つたようであつた。

今年度予算に1,650万円を計上し2カ年計画で新庁舎の建設が計画されているが、近々敷地も決定され着工の運びとなろう。

2. 産 業

この村の農業の特色を上げて上げるならば、陸稲、小麦、大麦の生産の多いことである。これはこの村に限らず猿島郡の特徴でもあるようだ。昭和33年の実収高は陸稲1,138,350トン（県下市町村別に見て8番目）大麦2,976,053kg（同じく6番目）小麦1,431,713kg（同じく11番目）でいずれも県下有数であるが、この村の1戸当り耕地はせいぜい1ヘクタール強であるから、いくら穫れる

といつたところで何時までもこのような品目に頼つては、農家経済の向上はあり得ないというのが村当局の考え方でもあるようだ。その点この村は意欲的で、養鶏養豚、酪農、マツシユルーム生産組合と、各組合が整備され、いわゆる多角経営に懸命だが、どうも第一次産業の生産品は値の変動がはげしく、収入が安定しないというらみがあるという。

それでも、現在豚のいない農家はない程だし、集乳所は33年に2カ所、34年2カ所と建設され、特殊園芸として促成さうり、とまと、すいかの栽培に力を入れ、果樹栽培組合ではぶどう、桃を試作している。ぶどうは組合員10人約3ヘクタールとまだその緒についたばかりだがマツシユルームは組合員25人位、金額にして約百万円の生産をあげている。

3. 教育文化

村が合併してから真先に手をつけたのが、教育施設の整備である。それはまず統合中学校の建設として始められ、今年その第3期工事として理科系統の校舎2階建1棟と、平屋1棟が完成した。来年度屋内外操場が出来ればすべて完備するわけである。今年の4月から全生徒が新校舎に入り授業を受けている。

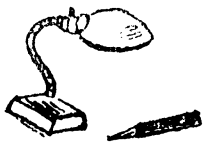
本村からの進学は、進学コースが境高校、就業コースが下妻、古河、結城の各高校へ向う。

村の納税成績は常に97%を上回り、4年連続金看板を受けた。国民健康保険は32年度全村実施し、名崎、清水岡に診療所がある。

村で珍しい施設としては、海外送信所としての名崎、八俣送信所であろう。名崎送信所は結城と古河の中間、本村の大字尾崎にあり、約60ヘクタールの広さを持ち、八俣送信所は大字山田、東北本線古河駅から16kmの地点にあり、約80ヘクタールの広さを持つ。名崎送信所は昭和9年通話を開始し、国際中継放送も行っている。八俣送信所は昭和15年10月に開設され海外放送も行つたが終戦と共に海外放送は停止となり、対米通話、対米特別放送、国内放送の短波中継所となつた。

昭和34年度一般会計歳入歳出当初予算 (単位円)

| 歳入 | 村税 | 地方交付税 | 公営企業及び財産収入 | 分担金及び負担金 | 使用料及び手数料 | 国庫支出金 | 県支出金 | 寄付金 | 繰越金 | 雑収入 | 村債 | 合計 | | | |
|----|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|---------|------------|
| | 39,039,500 | 23,000,000 | 14,130 | 810,000 | 380,200 | 1,818,000 | 1,240,630 | 25,300 | 14,038,690 | 6,494,620 | 7,750,000 | 94,611,070 | | | |
| 歳出 | 議会費 | 役場費 | 警消防費 | 土木費 | 教育費 | 社会労働費 | 保健衛生費 | 産業経済費 | 財産費 | 統計調査費 | 選挙費 | 公債費 | 諸支出金 | 予備費 | 合計 |
| | 2,681,300 | 29,765,690 | 4,029,580 | 8,277,200 | 19,669,900 | 2,535,640 | 1,848,010 | 5,934,270 | 132,330 | 234,800 | 667,900 | 3,586,250 | 14,516,300 | 731,900 | 94,611,070 |



東京の女性

生 井 一 郎

先日上野の国立博物館に十年に一度しか行われないう正倉院の宝物展を見学に行つたが、まず陳列された宝物よりも見物人の多いのに驚いた。平常なら広い館内、さすがに今日ばかりは押すな押すなのひしめき合ひで、私達の前に女子高校生の一団が入り、その後から私達が入つていつたのであるが、前の高校生達は、年令から見てもさわざたい年頃かも知れないが、まるでさわいているのが楽しみのようで、美術品の鑑賞などこ吹くゑである。またそのように見える程会場は混雑していたのである。私はようやく手すりに寄つて見られるようになったが、それもつかの間、あつと思う間に後方から圧力が加わり、あえなく列外にはみ出され、しまつたと思つて振返ると、なんと22.3才の女性が涼しそうな顔でいるではないか。勿論この一人の女性が押したのではないにしても、それとなくこの間友人のK君から聞いた話を思い出した。

その話というのは、とに角東京の通勤時の電車、バスはすごいもので、電車なんか、つめ込めるだけつめ込んで定員なんのそののである。それで、ある朝の通勤バスの中での出来事、バスは満員でもう一人一人入れないような状態であつた。その中で40になろうかとも思われる紳士が、19そここの娘にほつぺたを思いきりびしやりとやられたそうだ。なぜやられたのか、しばらくわからなかつたが、どうやらバスのゆれた拍子に娘さんのよからぬところにふれてしまつたのかも知れない。それにしてもいい紳士が大衆の面前で自分の子供ぐらいの小娘にびしやりとやられたのでは面目まるつぶれである。紳士は顔を赤らめて「僕は何もしないのに……」と一人ごとのようにいつていたが、それが真実であるならば我々男性としてまつたく同情するものである。またいかに戦後強くなつたのが女性とナイロンの靴下とは申せあまりにもひど過ぎるように思える。

ここで話はちよつと変つて、統計から見た女性の強さ

というのを見てみよう。日本人の平均寿命が終戦直後の男47才女50才から、今日の男65才女69.5才と、この14年間に男が18年女が約20年も寿命が延びたということは医学の発達、栄養補給などがよくなつたこと、また終戦直後に算出した平均寿命は戦争による直接、間接の影響が多分にあつたということは別にしても、真に脅威的なものである。そしてさらに注目すべきことは女性が男性よりも約5年近くも長生きするということであろう。人間の寿命は社会的な要因によつてもある程度左右されるということで、インド、セイロン等の後進国では男の寿命が長く、一般に文明国では4年前後女の方が長生きするとのことである。こういうと男性の皆様から、男が命が短いのは、毎日通勤ラッシュの中を職場に出て来て一年中馬車馬のように働いて、もらつた金は皆んな奥さんに渡してしまい、なんて長生きなどするものかと申されるかも知れないが、しかし、奥さんとても安月給を預つて子供のめんどうをみたり、金のやりくりなど、これまたあまり楽なことではなからう。

さてここで男女の出生比率は女100人に対し男105人ぐらいであるが、男というものは弱いもので、特に1才未満の新生児死亡が女のそれに比べ多く、丁度結婚適令期になるとほとんど同数になる。結婚といえちよつと余談になるが、今ブームに乗つて日本全国で一日2,000組ものおめでたがあり、この平均年令はおおよそのところ新郎が27才新婦が24才(都市と農村など地域的に差はあるが)でその差が3才であり、ここで先程の平均寿命を思い合わせると、3+4の計7年の未亡人になる約束を全国で一日2,000人もの前途ある女性がしているということになれば、大きな社会問題にもなりかねない。特に最近社会保障制度の確立がさげばれていることでもあるから。でもそんなことは取越苦勞であるというのであれば幸いです。

(県統計課主事、現在統計職員養成所に第25期生として入所中)